



レポート

- レポートの概要 (1 ページ)
- 最初のレポートの実行 (2 ページ)
- アクセスポイントレポートの実行 (11 ページ)
- クライアントレポートの実行 (20 ページ)
- エグゼクティブ サマリー レポートの実行 (28 ページ)
- インベントリレポートの実行 (36 ページ)
- ライセンスレポートの実行 (45 ページ)
- ネットワーク デバイス レポートの実行 (54 ページ)
- 不正および aWIPS レポートの実行 (63 ページ)
- ROI レポートの実行 (72 ページ)
- セキュリティ アドバイザリ レポートの実行 (74 ページ)
- SWIM レポートの実行 (82 ページ)
- 生成されたレポートの表示 (91 ページ)

レポートの概要

レポート機能のデータを使用すると、ネットワークとその動作に関する洞察を得ることができます。このデータがいくつかの形式でレポートされることと、柔軟なスケジューリングおよび設定オプションが提供されることにより、データとレポートの両方を運用上のニーズに合わせて容易にカスタマイズできます。

[Reports] 機能は、次の使用例をサポートしています。

- キャパシティプランニング：ネットワーク内のデバイスがどのように利用されているのかを理解できます。
- パターンの変更：ネットワークでの使用パターンの傾向の変化を追跡します。使用パターンの傾向には、クライアント、デバイス、バンド、またはアプリケーションが含まれる場合があります。
- 運用レポート：アップグレード完了やプロビジョニング障害などのネットワーク運用に関するレポートを確認できます。

- ネットワークの正常性：レポートによってネットワークの全体的な正常性を判断できません。



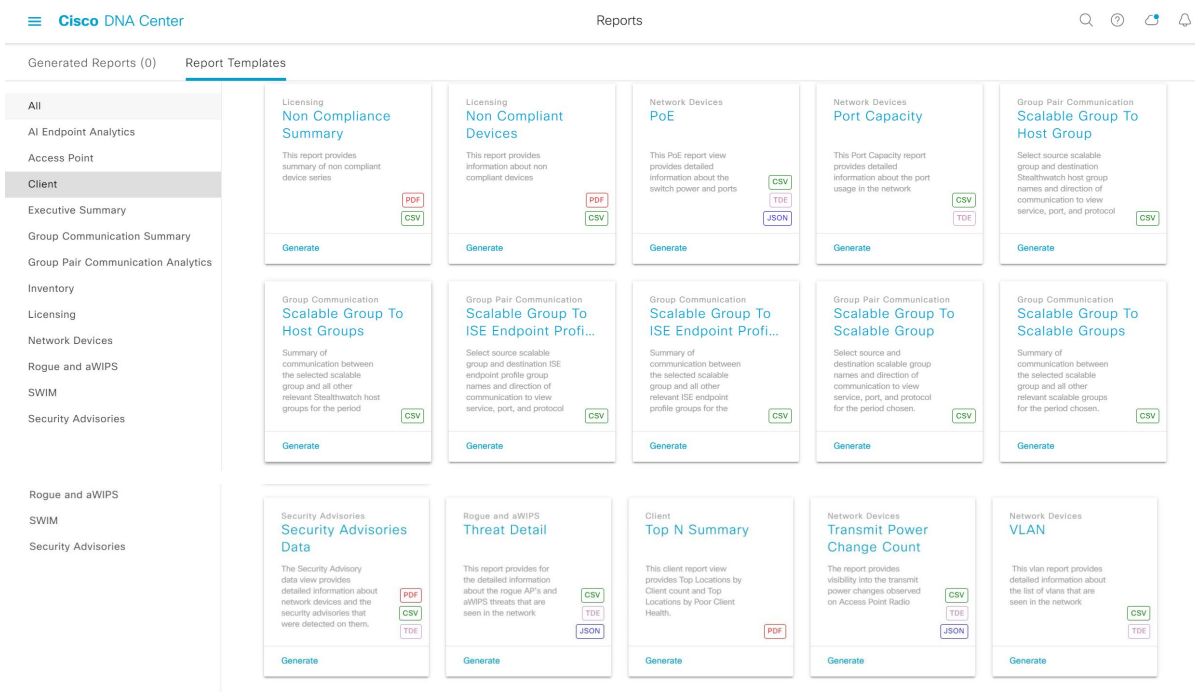
(注) [Reports]機能の新しい使用例は、将来のリリースで追加される予定です。これらの情報については、今後のCisco DNA Centerプラットフォームのリリースノートで確認してください。

最初のレポートの実行

ネットワークについての専門的なデータレポートの実行を開始するには、この手順を実行します。Cisco DNA Center GUIの[Reports]ウィンドウを使用してデータレポートを設定できます。

図 1: [Reports]ウィンドウ

The screenshot displays the Cisco DNA Center Reports interface. The top navigation bar includes the Cisco DNA Center logo, the word 'Reports', and utility icons for search, help, refresh, and notifications. Below the navigation bar, there are two tabs: 'Generated Reports (0)' and 'Report Templates'. The 'Report Templates' tab is active, showing a grid of report cards. Each card contains a title, a brief description, and icons for export formats (PDF, CSV, TDE, JSON) and a 'Generate' button. The left sidebar lists various report categories: All, AI Endpoint Analytics, Access Point, Client, Executive Summary, Group Communication Summary, Group Pair Communication Analytics, Inventory, Licensing, Network Devices, Rogue and aWIPS, SWIM, and Security Advisories. The first screenshot shows reports like 'Licensing AireOS Controllers Licenses', 'Inventory All Data', 'SWIM All Data', 'Access Point AP', 'Access Point AP Radio', 'Client Busiest Client', 'Network Devices Channel Change Count', 'Client Client Detail', 'Client Client Session', and 'Client Client Summary'. The second screenshot shows reports like 'Client Client Trend', 'AI Endpoint Analytics Endpoint Profiling', 'Executive Summary Executive Summary', 'Group Pair Communication Host Group To Scalable Group', 'Group Communication Host Group To Scalable Groups', 'Group Pair Communication ISE Endpoint Profile Group To Scalable...', 'Group Communication ISE Endpoint Profile Group To Scalable...', 'Licensing License Usage Upload Details', 'Network Devices Network Device Availability', and 'Rogue and aWIPS New Threat'.

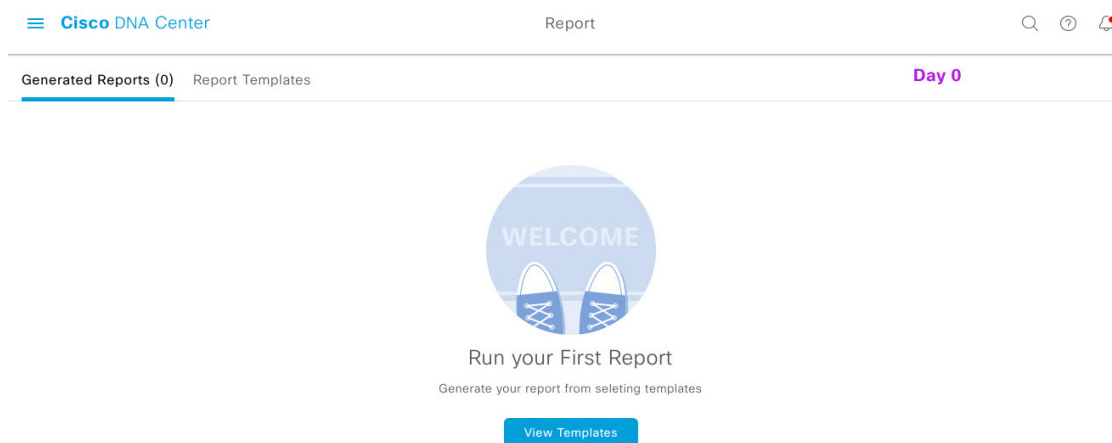


始める前に

- 正常なディスカバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスカバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順にクリックして結果を表示します。

ステップ 1 [Reports]メニューアイコン (☰) をクリックして、
[Run Your First Report] ウィンドウが表示されます。

図 2: [Run Your First Report] ウィンドウ



ステップ 2 [Start] をクリックします。

[Report Templates] ウィンドウが開き、slide-in pane にサポートされているレポートカテゴリが表示されます。リンクは各カテゴリを表します。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

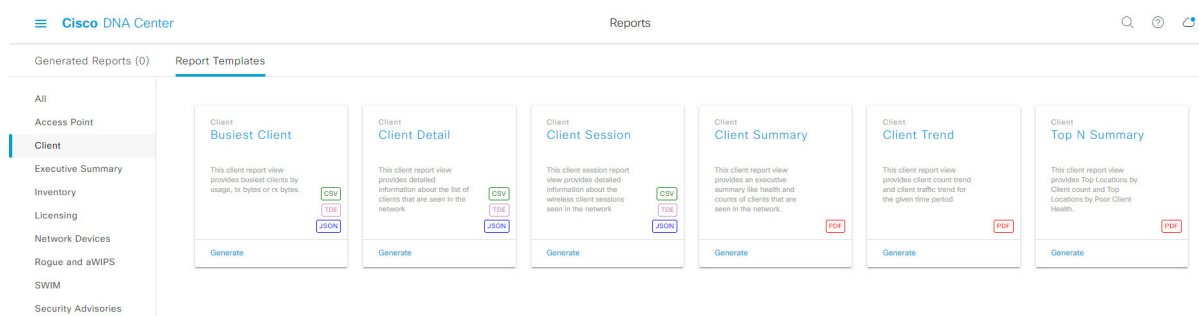
このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されません。

(注) この手順では、例として [Clients] を選択しています。レポートで使用可能なオプションと GUI に表示されるオプションは、選択したレポートのタイプによって異なります。

ステップ 3 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 3: [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイトルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、クライアントレポートの場合は、[Client Summary]、[Client Detail]、[Top N Summary]、[Client Trend]、[Client Session] のレポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（PDF、CSV、TDE、JSON）も各タイトル内にアイコンで示されます。

ステップ 4 サンプルレポートを表示するには、タイトルでヘッダーをクリックします。

そのサンプルレポートの [Preview] ウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

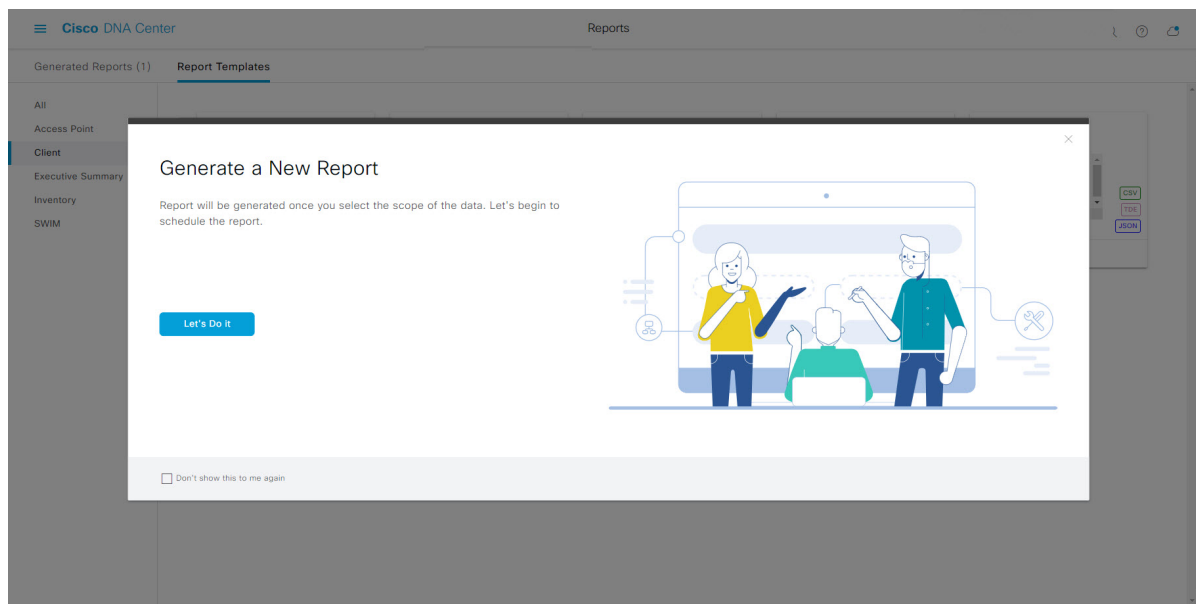
(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

ステップ 5 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 6 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイトルで **[Generate]** リンクをクリックします。
[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ 7 **[Generate a New Report]** ウィンドウで、**[Let's Do It]** をクリックして生成を開始します。

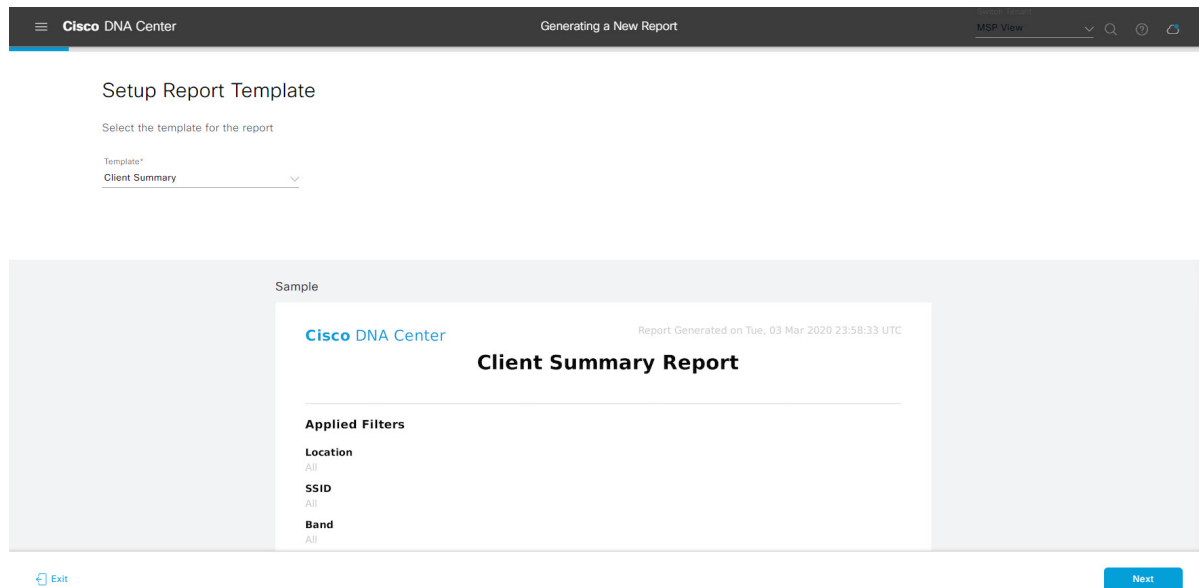
図 4: **[Generate a New Report]**



[Select Report Template] ウィンドウが開きます。

ステップ 8 **[Select Report Template]** ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。
[Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 5: [Setup Report Template]



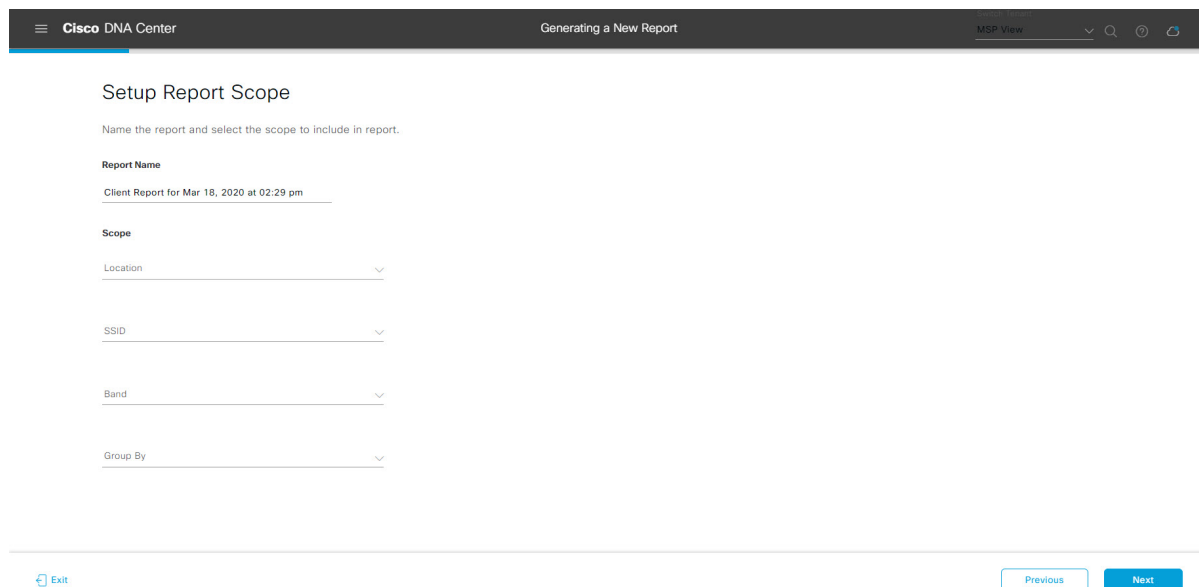
[Next] をクリックして続行します。[Setup Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Setup Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を入力して範囲を選択します。

[ReportName] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Setup Report Scope] オプションは、選択した [Template Group] に応じて変わります。

図 6: [Setup Report Scope]



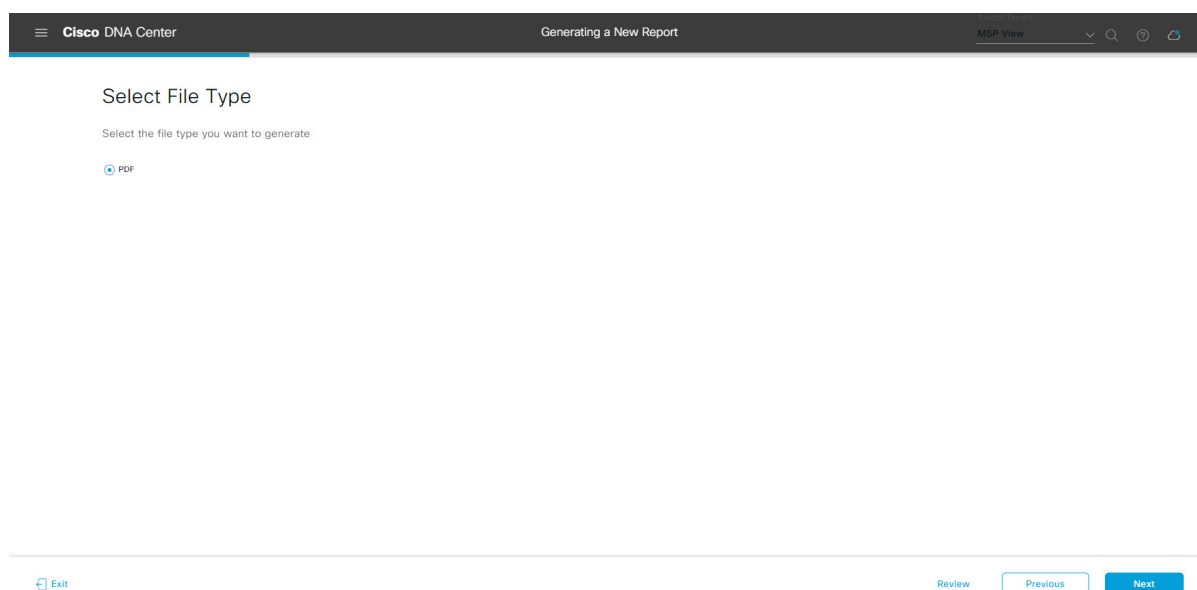
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- **PDF**
- **CSV**
- **Tableau Data Extract**
- **JSON**

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 7: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- **Last 3 hours**
- **Last 24 hours**
- **Last 7 days**
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン（GMT）を選択できるフィールドが表示されます。

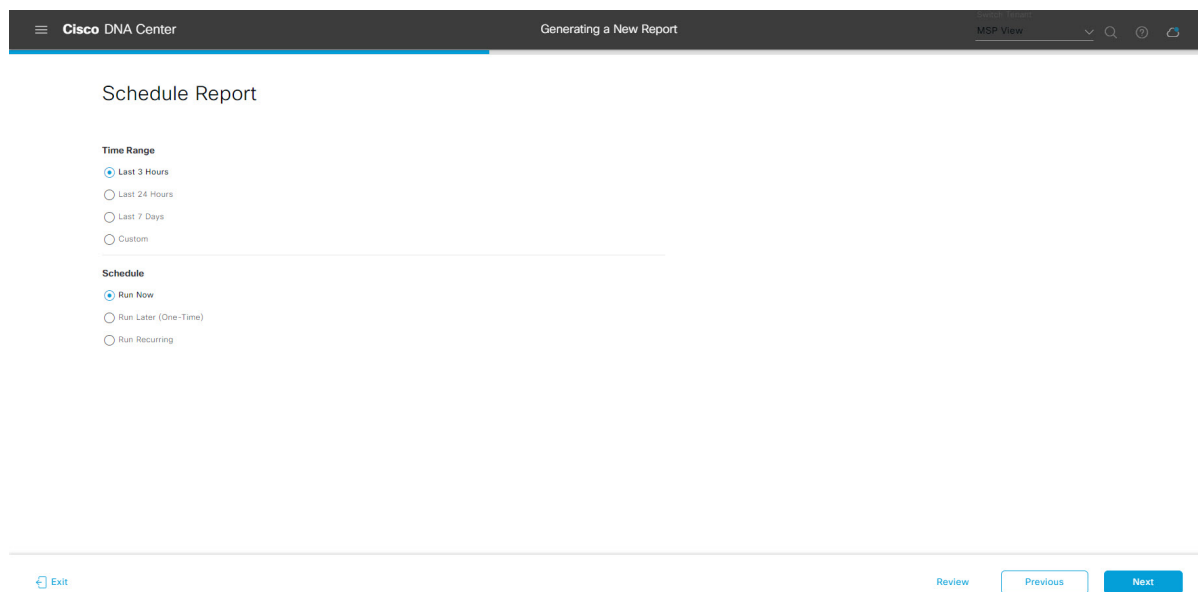
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

次の [Schedule] オプションの設定時にレポートのタイムゾーンを選択することもできます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 8: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- [No delivery/notification] : 電子メールまたはウェブフックの通知を送信しません。
- [Email Report] : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。

(注) 電子メールの SMTP サーバーをまだ設定していない場合は、設定するように求められます。GUI の [Email] タブのプロンプトに従って SMTP サーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] タブの順にクリックします。

- [Link] : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知には、元の通知に戻るリンクと、[Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクがあります。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) レポートへのリンクが埋め込まれた電子メール通知は、最大20の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

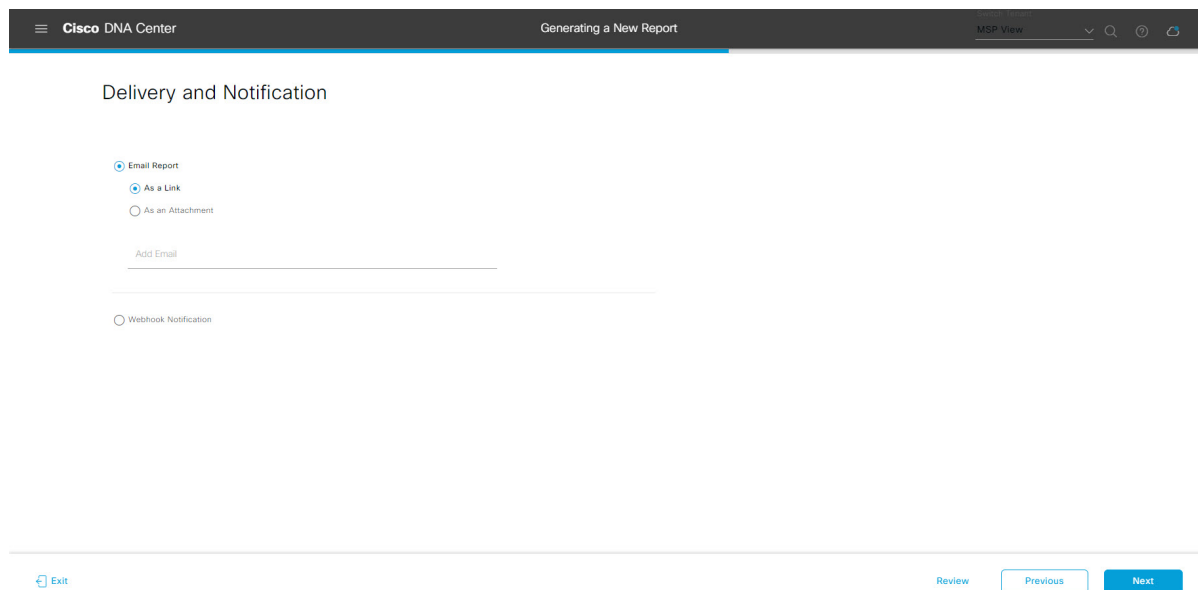
(注) PDF レポートは、最大 20 MB の電子メール通知添付ファイルと最大 10 の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
 - インポートプロセスは進行中です。
 - レポートのコンパイルが正常に完了しました。
- [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス（コールバック URL）へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンリスト（[Subscription Profile] フィールド）からウェブフックを選択します。
- (注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

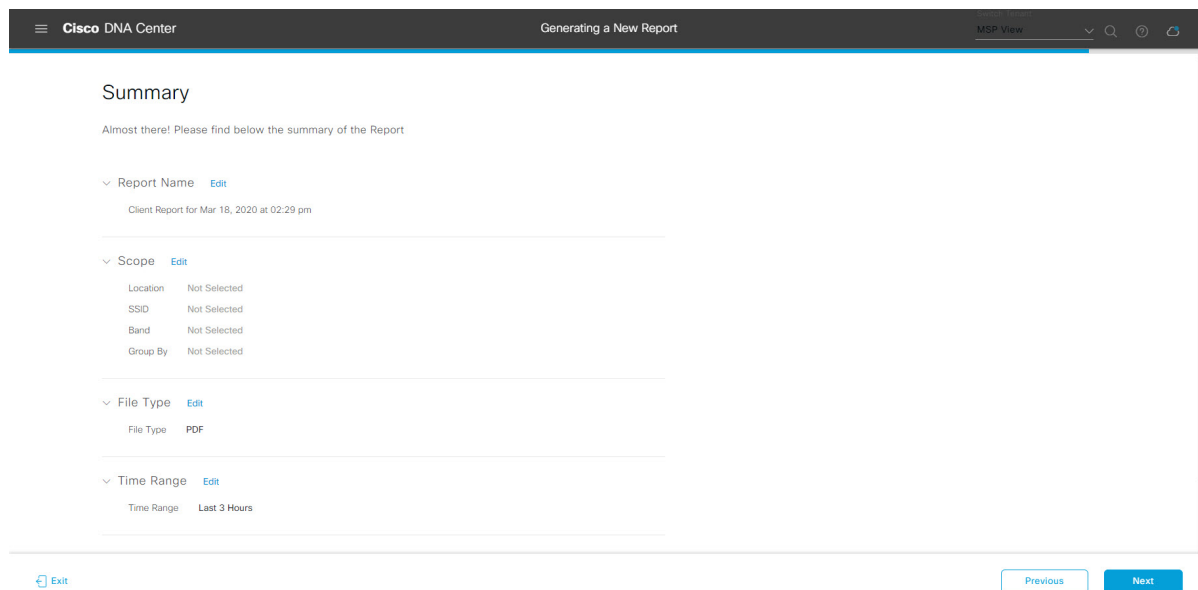
図 9: [Delivery and Notification]



[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 13 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 10: [Summary]



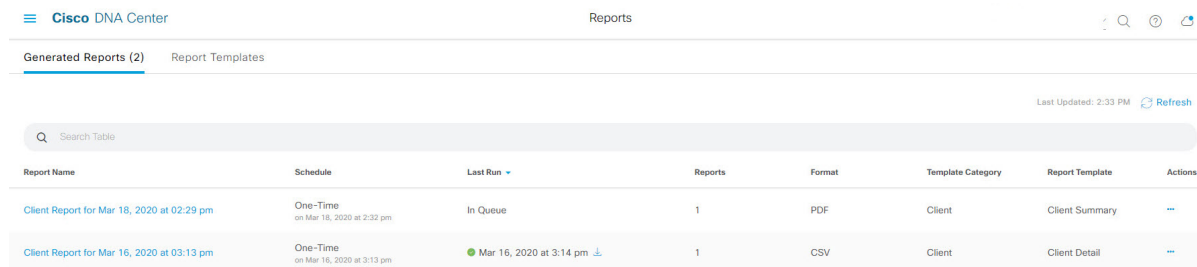
[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 14 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 11 : [Generated Reports]



The screenshot shows the Cisco DNA Center interface for the Reports section. It features a search bar and a table with columns for Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Template Category, Report Template, and Actions. Two reports are listed: one in PDF format (Client Summary) and one in CSV format (Client Detail).

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	...
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	...

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

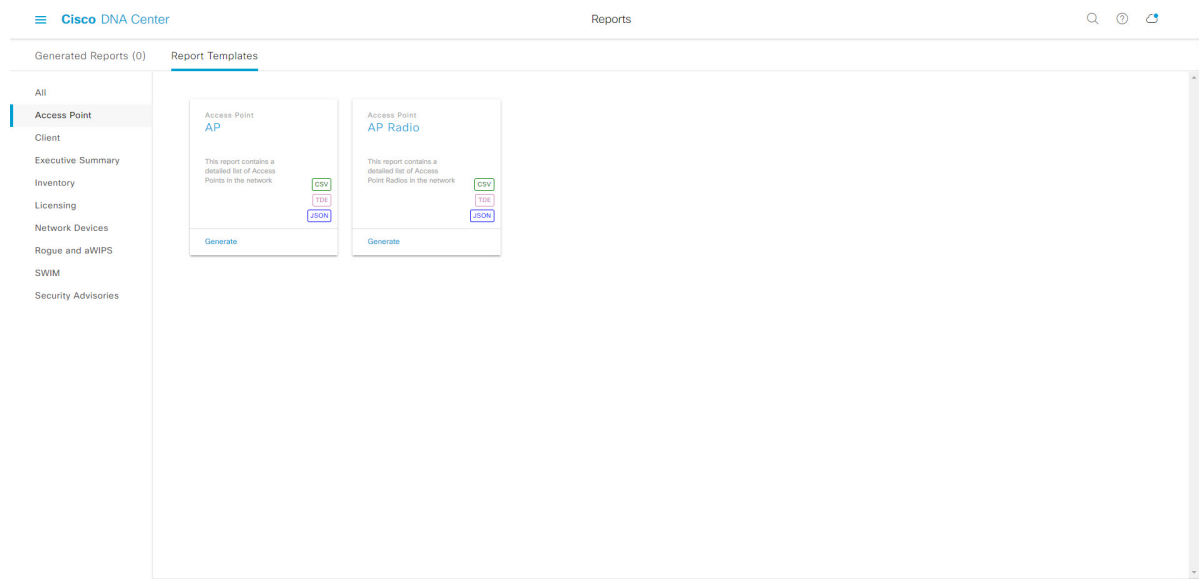


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(91 ページ\)](#) を参照してください。

アクセスポイントレポートの実行

ネットワークについてのアクセスポイントレポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用してアクセスポイントレポートを設定することができます。

図 12: アクセスポイントレポート



始める前に

- 正常なディスカバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスカバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順に選択して結果を表示します。

ステップ 1 メニューアイコン (☰) をクリックして、[Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。リンクは各カテゴリを表します。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

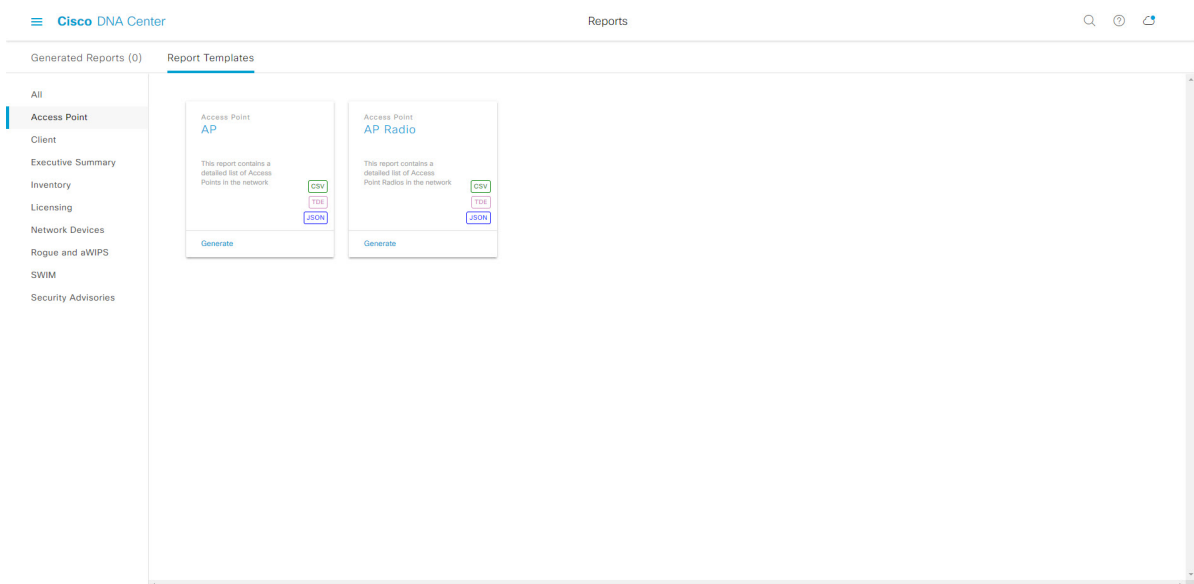
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Licensing] : 非準拠デバイスと非準拠の理由を示すレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。

- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。
- [Security Advisories] : ネットワークデバイスに関するシスコのセキュリティアドバイザリ情報を提供するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 13: [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウでは、各テンプレートはタイルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。アクセスポイントレポートの場合は、[AP] レポート、[AP Radio] レポート、または [AP Performance] レポートを作成できます。アクセスポイントレポートの場合、サポートされるファイルタイプは CSV、TDE、および JSON です。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。

(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

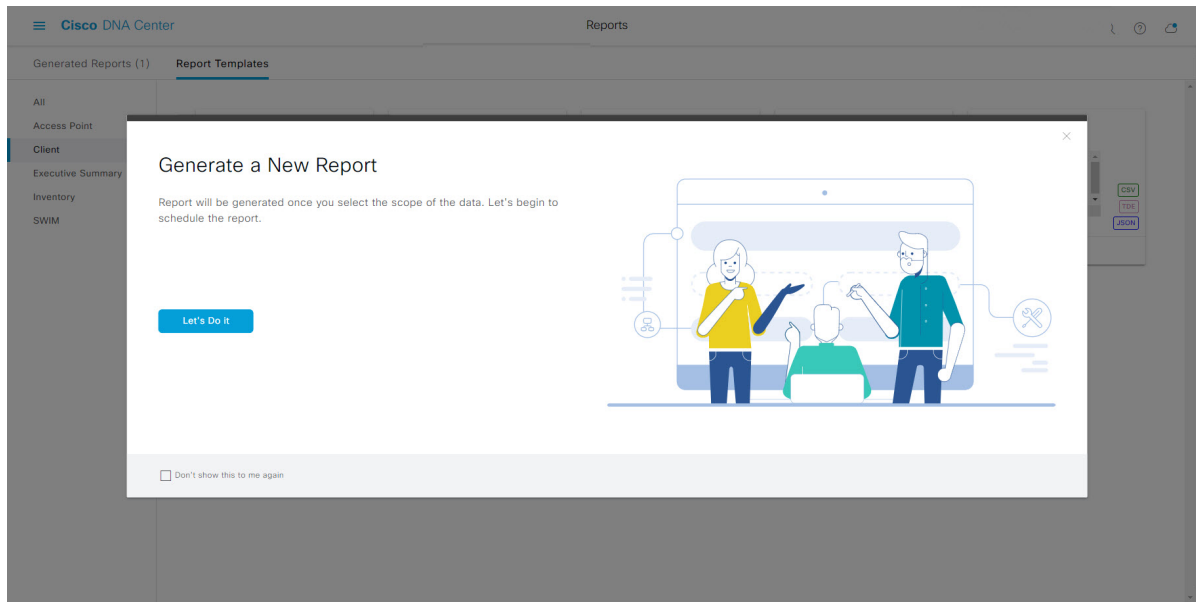
ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイルで [Generate] リンクをクリックします。

[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

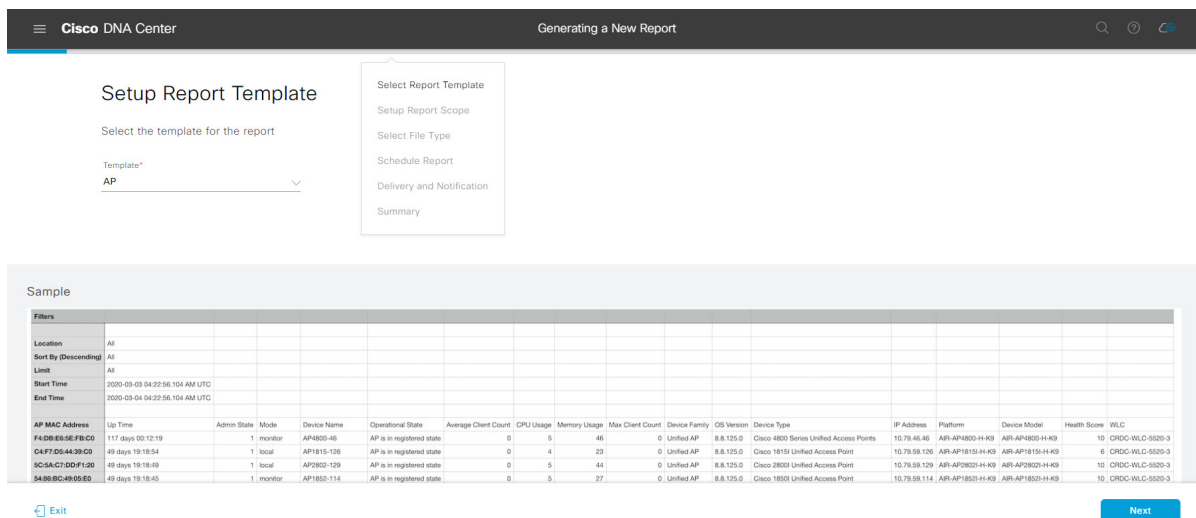
- ステップ 6** [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。
今後この画面をスキップするには、[Don't show this to me again] チェックボックスをオンにします。

図 14 : [Generate a New Report]



- ステップ 7** [Select Report Template] ウィンドウで、[Template] ドロップダウンリストからテンプレートを選択します。
(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。
同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 15 : [Setup Report Template]



- ステップ 8** [Next] をクリックします。

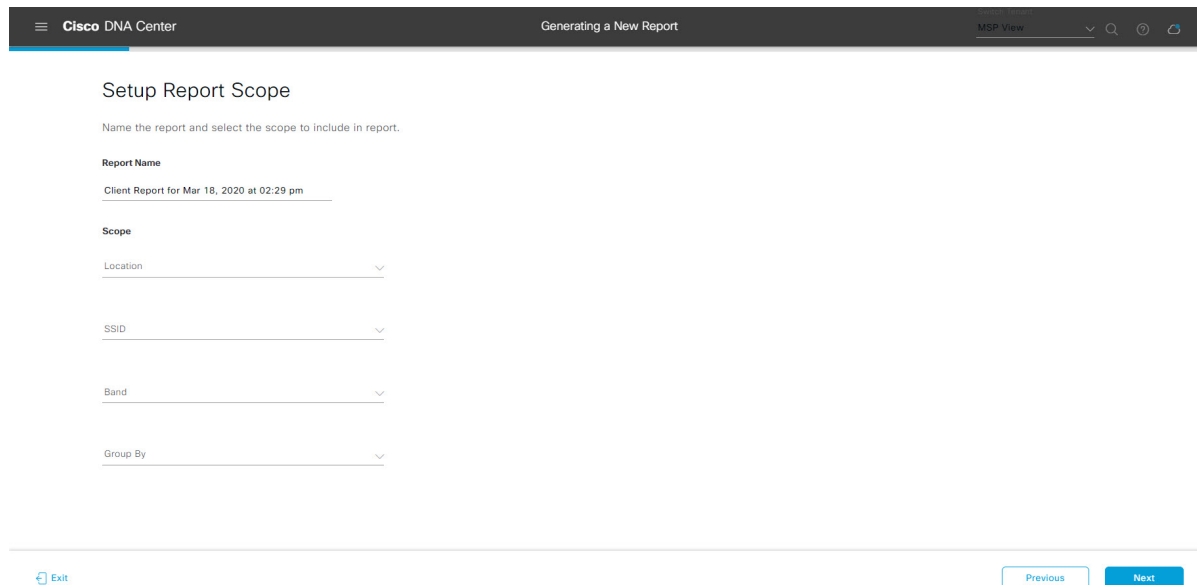
[Setup Report Scope] ウィンドウが表示されます。

ステップ 9 [Setup Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[Report Name] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Setup Report Scope] オプションは、選択した [Template] に応じて変わります。

図 16 : [Setup Report Scope]



ステップ 10 [Next] をクリックします。

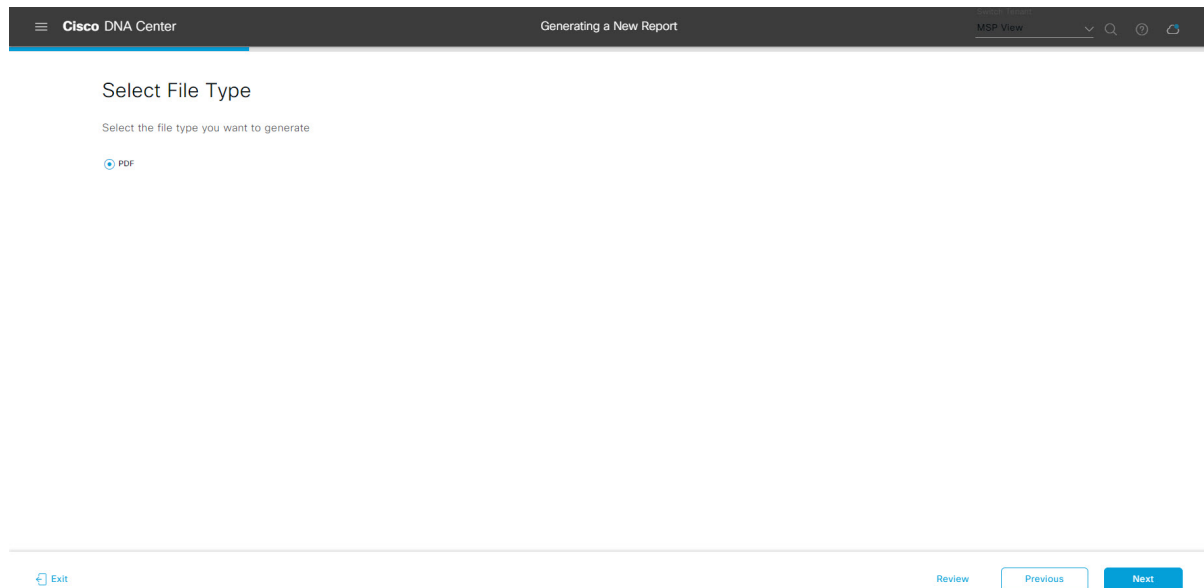
ステップ 11 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。

[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- PDF
- CSV
- Tableau Data Extract
- JSON

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 17: [Select File Type]



ステップ 12 [Next] をクリックします。

ステップ 13 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。

[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- **Last 3 hours**
- **Last 24 hours**
- **Last 7 days**
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン (GMT) を選択できるフィールドが表示されます。

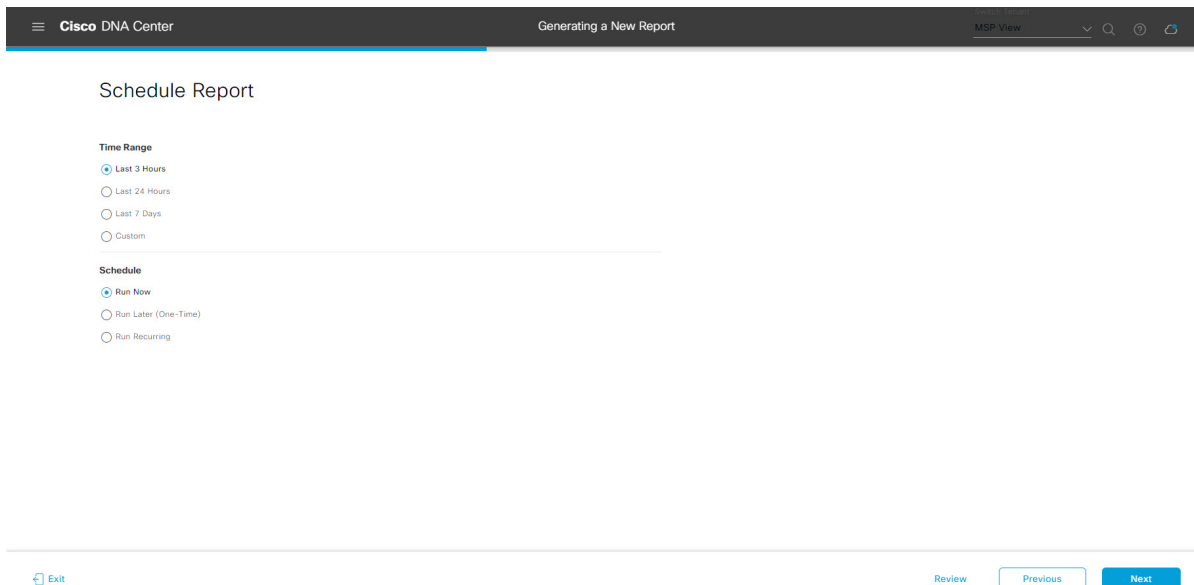
レポートのスケジュール設定では、次の [Schedule] オプションを使用できます。

- **Run Now**
- [Run Later (One-Time)]
- [Run Recurring]

Cisco DNA Center では、次の [Schedule] オプションの設定時にレポートのタイムゾーンを選択することもできます。

- **Custom**
- [Run Later (One Time)]
- [Run Recurring]

図 18: レポートのスケジュール



ステップ 14 [Next] をクリックします。

ステップ 15 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- [Email Report] : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。

(注) 電子メールの SMTP サーバーをまだ設定していない場合は、設定するように求められます。GUI の [Email] タブのプロンプトに従って SMTP サーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] タブの順にクリックします。

- [As a Link] : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知には、元の通知に戻るリンクと、[Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクがあります。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) レポートへのリンクが埋め込まれた電子メール通知は、最大 20 の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enter を押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

- [As an Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) PDF レポートは、最大 20 MB の電子メール通知添付ファイルと最大 10 の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enter を押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

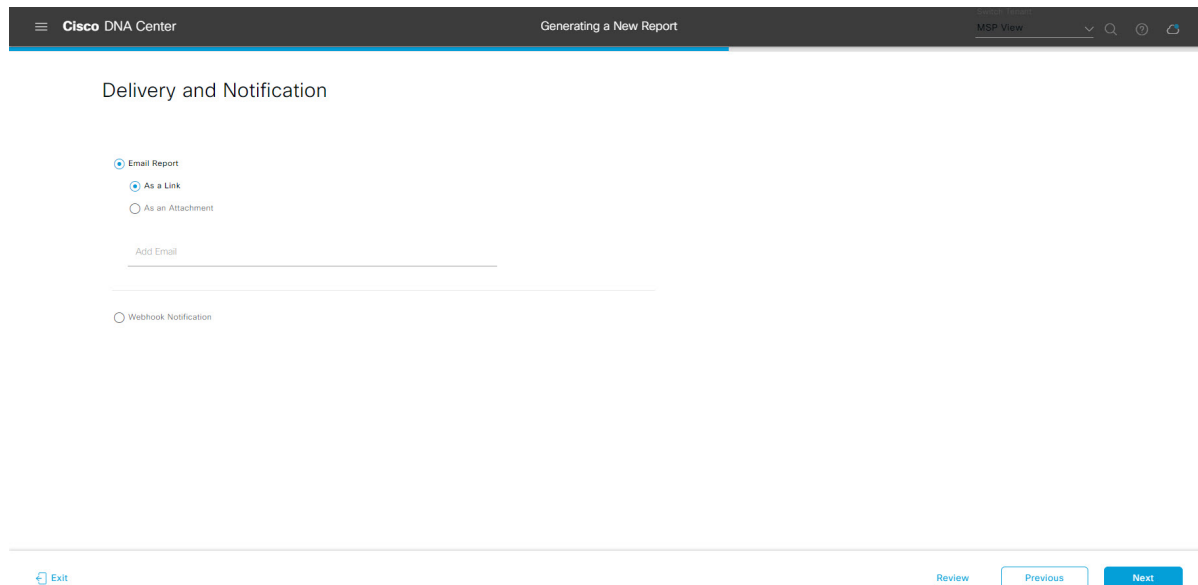
- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
 - インポートプロセスは進行中です。
 - レポートのコンパイルが正常に完了しました。
- **[Webhook Notification]** : 設定されたウェブフック URL アドレス (コールバック URL) へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンリスト ([Subscription Profile] フィールド) からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook]タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次のステータスウェブフック通知を送信します。

- In Queue
- In Progress
- Success

図 19: [Delivery and Notification]



ステップ 16 [Next] をクリックします。

ステップ 17 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 20 : [Summary]

Summary

Almost there! Please find below the summary of the Report

Report Name [Edit](#)
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm

Scope [Edit](#)
Location Not Selected
SSID Not Selected
Band Not Selected
Group By Not Selected

File Type [Edit](#)
File Type PDF

Time Range [Edit](#)
Time Range Last 3 Hours

[Exit](#) [Previous](#) [Next](#)

[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 18 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 21 : [Generated Reports]

Generated Reports (2) Report Templates

Last Updated: 2:33 PM [Refresh](#)

Search Table

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	⋮
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	⋮

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

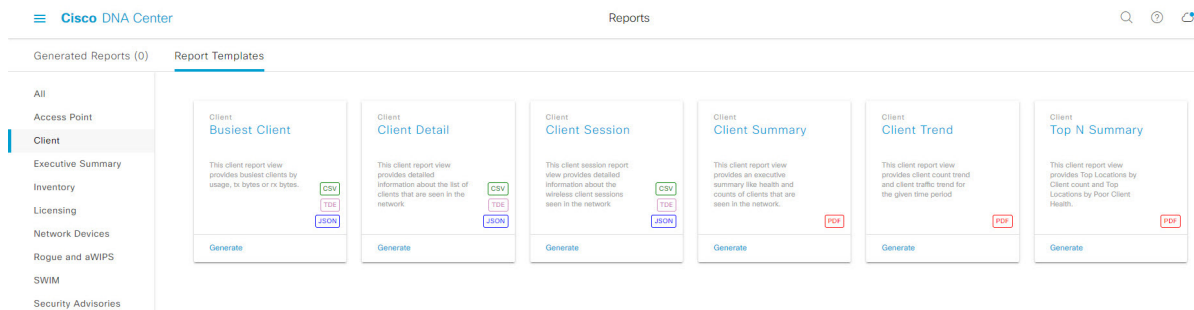


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(91 ページ\)](#) を参照してください。

クライアントレポートの実行

ネットワークについての専門的なクライアントレポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUIの[Reports]ウィンドウを使用してクライアントレポートを設定することができます。

図 22: クライアントレポート



始める前に

- 正常なディスクバリジョブをCisco DNA Centerで実行します。[Device Inventory]でディスクバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu]アイコン(☰)から、[Provision] > [Inventory]の順に選択して結果を表示します。

ステップ 1 メニューアイコン (☰) をクリックして、[Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。リンクは各カテゴリを表します。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

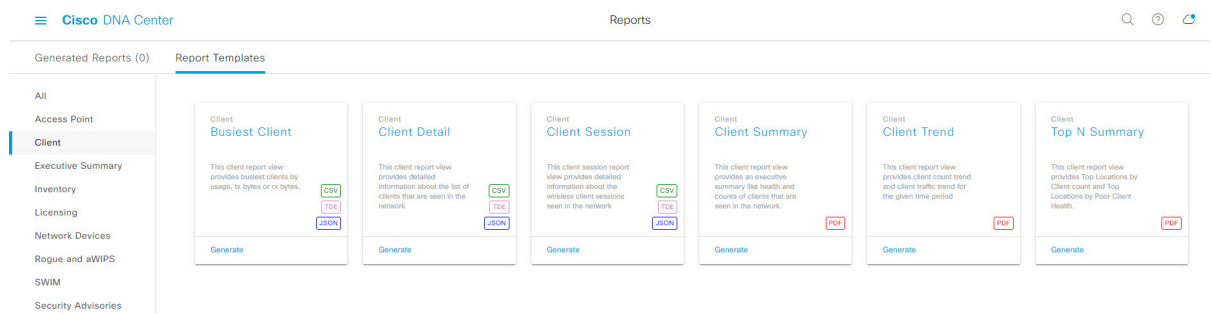
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Licensing] : 非準拠デバイスと非準拠の理由を示すレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。

- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。
- [Security Advisories] : ネットワークデバイスに関するシスコのセキュリティアドバイザリ情報を提供するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 23 : [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、クライアントレポートの場合は、[Busiest Client]、[Client Summary]、[Client Detail]、[Top N Summary]、[Client Trend - Count and Traffic]、[Client Session] のレポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（PDF、CSV、TDE、JSON）も各タイル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。一部のクライアントレポートで表示されるデータを次に示します。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

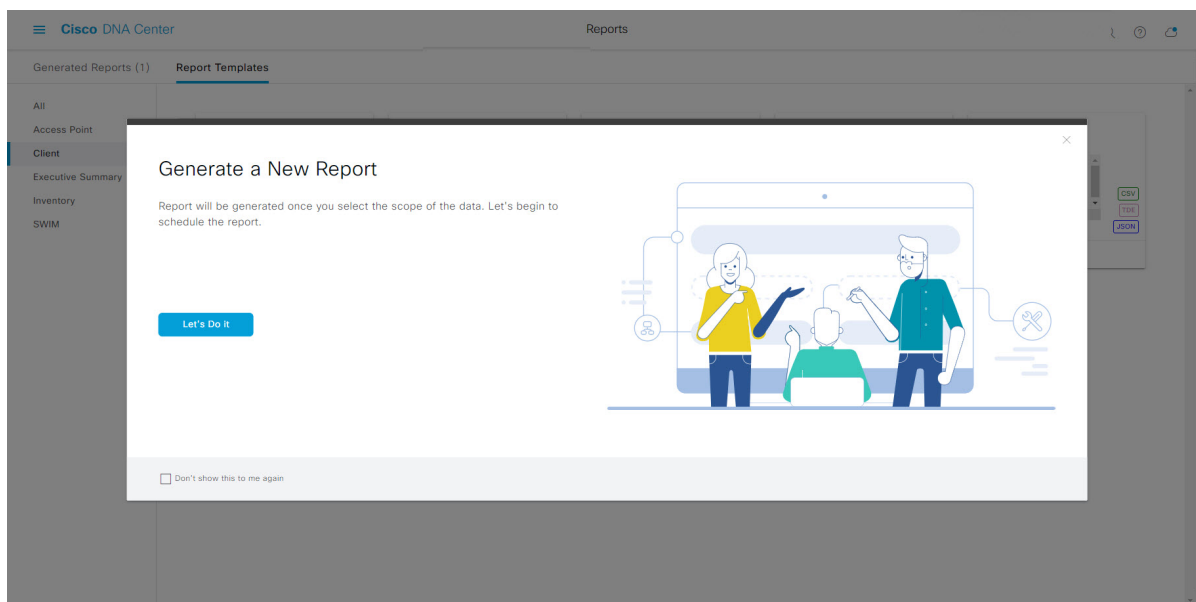
ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイルで [Generate] リンクをクリックします。

[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ6 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 24 : [Generate a New Report]



[Select Report Template] ウィンドウが開きます。

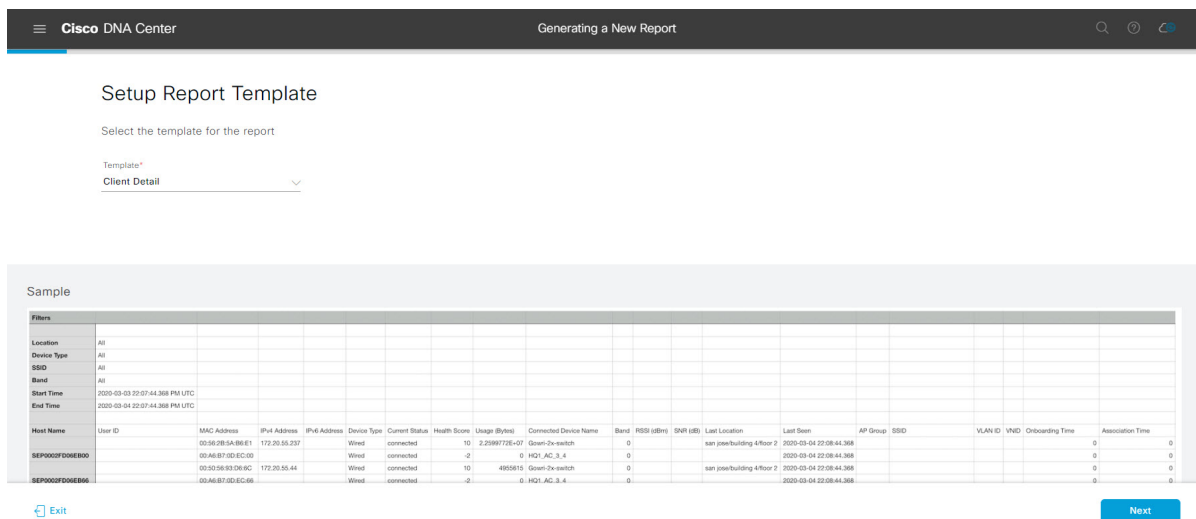
ステップ7 [Select Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

ドロップダウンリストから [Template] を選択します。

(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 25 : [Setup Report Template]



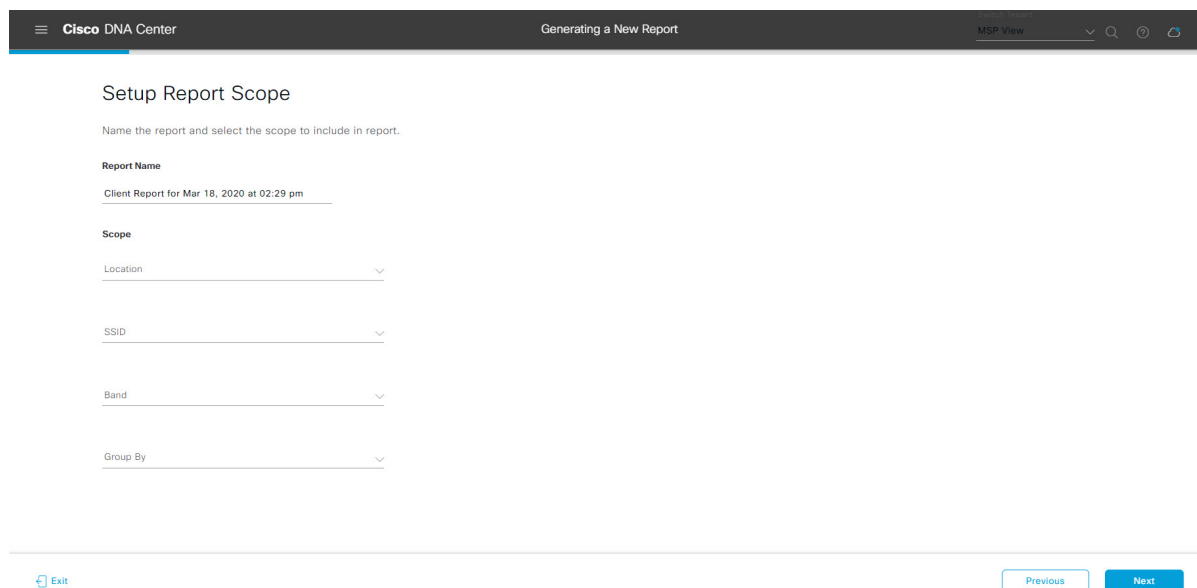
[Next] をクリックして続行します。[Setup Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 8 [Setup Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[Report Name] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Setup Report Scope] オプションは、選択した [Template] に応じて変わります。

図 26 : [Setup Report Scope]



[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

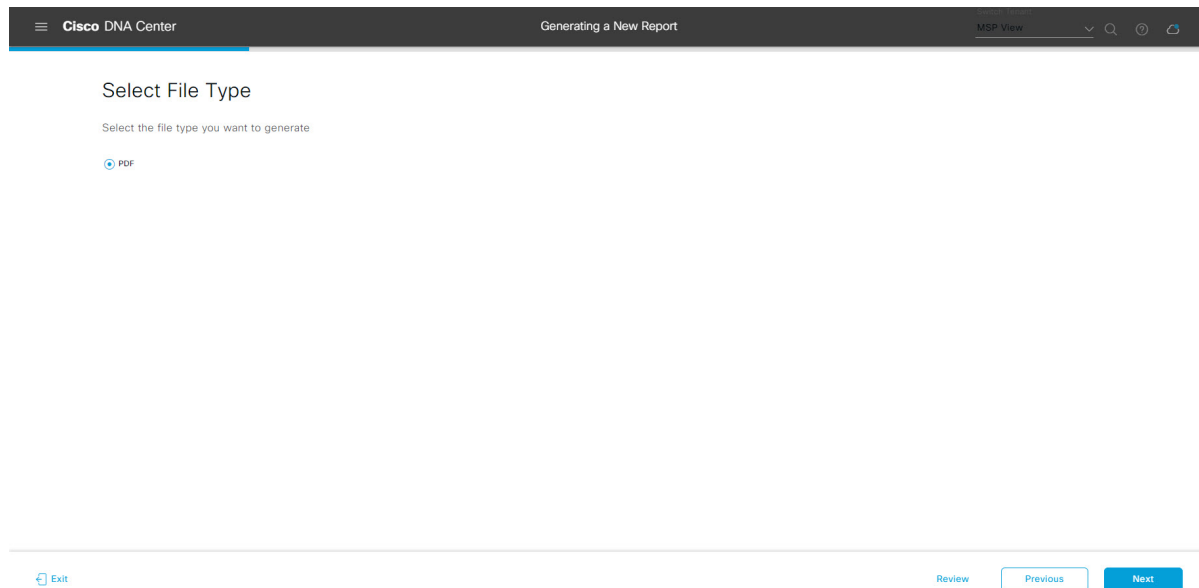
ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。

[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- PDF
- CSV
- Tableau Data Extract
- JSON

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 27: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。

[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- **Last 3 hours**
- **Last 24 hours**
- **Last 7 days**
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン (GMT) を選択できるフィールドが表示されます。

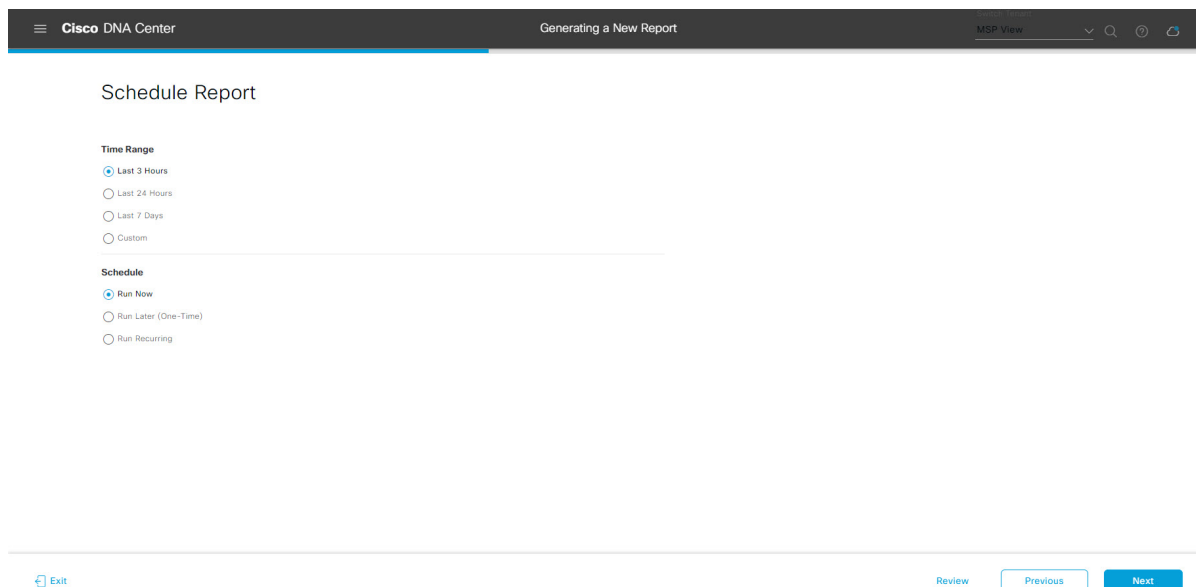
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

次の [Schedule] オプションの設定時にレポートのタイムゾーンを選択することもできます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 28: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- [Email Report] : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。

(注) 電子メールの SMTP サーバーをまだ設定していない場合は、設定するように求められます。GUI の [Email] タブのプロンプトに従って SMTP サーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] タブの順にクリックします。

- [Link] : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知には、元の通知に戻るリンクと、[Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクがあります。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) レポートへのリンクが埋め込まれた電子メール通知は、最大 20 の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに (キーボードの) Enter を押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

- [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) PDF レポートは、最大 20 MB の電子メール通知添付ファイルと最大 10 の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに (キーボードの) Enter を押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

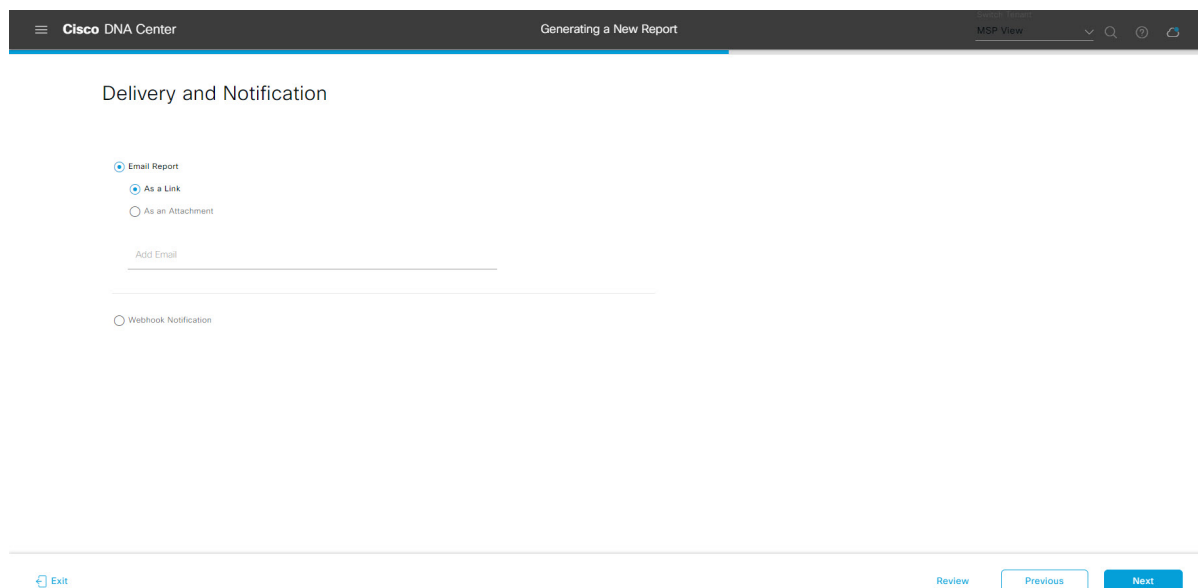
Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
 - インポートプロセスは進行中です。
 - レポートのコンパイルが正常に完了しました。
- **[Webhook Notification]** : 設定されたウェブフック URL アドレス (コールバック URL) へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンリスト ([Subscription Profile] フィールド) からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook]タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

図 29 : [Delivery and Notification]



[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 30 : [Summary]

Cisco DNA Center Generating a New Report MSP View

Summary

Almost there! Please find below the summary of the Report

Report Name [Edit](#)
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm

Scope [Edit](#)
Location Not Selected
SSID Not Selected
Band Not Selected
Group By Not Selected

File Type [Edit](#)
File Type PDF

Time Range [Edit](#)
Time Range Last 3 Hours

[Exit](#) [Previous](#) [Next](#)

[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 31 : [Generated Reports]

Cisco DNA Center Reports

Generated Reports (2) Report Templates

Last Updated: 2:33 PM [Refresh](#)

Search Table

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	⋮
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	⋮

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

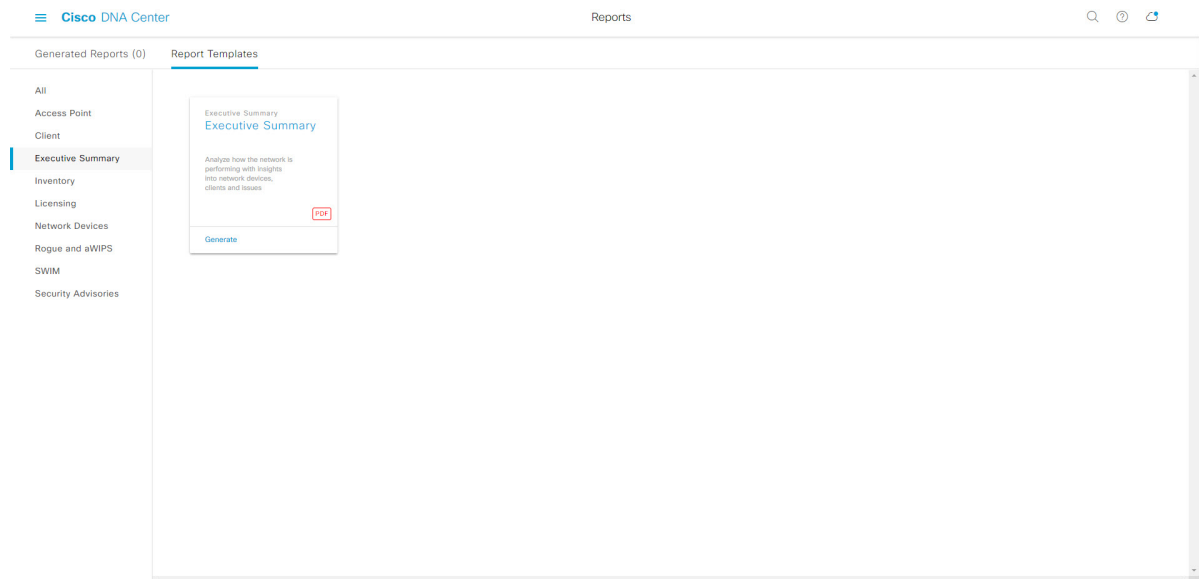


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(91 ページ\)](#) を参照してください。

エグゼクティブサマリーレポートの実行

ネットワークについての [Executive Summary] レポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用して [Executive Summary] レポートを設定することができます。

図 32 : [Executive Summary] レポート



始める前に

- 正常なディスクバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスクバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順に選択して結果を表示します。

ステップ 1 メニューアイコン (☰) をクリックして、[Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。リンクは各カテゴリを表します。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

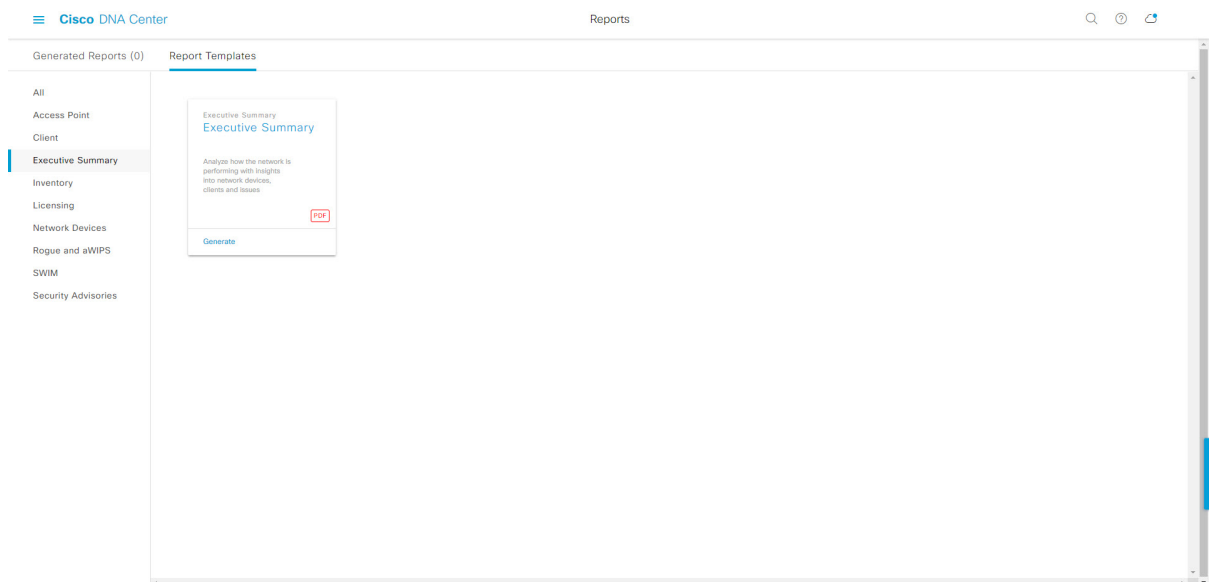
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。

- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
各種のデバイス（ワイヤレスまたは有線クライアント、ルータ、スイッチ、APなど）の数が200,000を超える場合、その数は推定数になります。
- [Licensing] : 非準拠デバイスと非準拠の理由を示すレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。
- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。
- [Security Advisories] : ネットワークデバイスに関するシスコのセキュリティアドバイザリ情報を提供するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 33: [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイトルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、[Executive Summary] レポートの場合は、[Executive Summary] レポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（PDF）もタイトル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイトルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- データメトリックとサマリー。
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

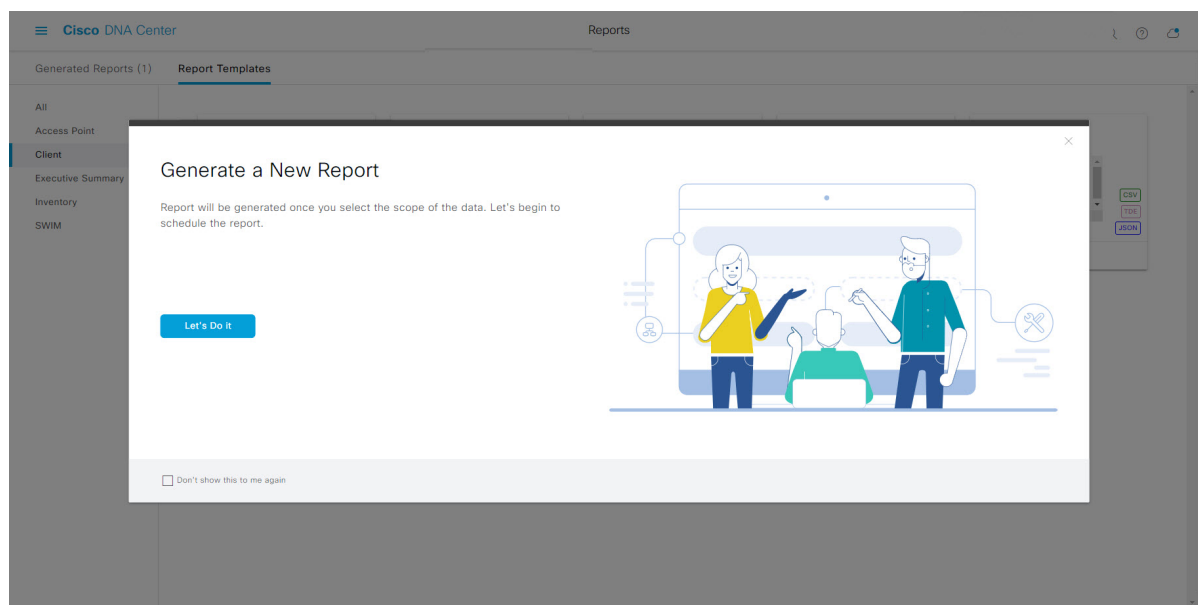
ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイトルで [Generate] リンクをクリックします。

[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ 6 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 34: [Generate a New Report]



[Select Report Template] ウィンドウが開きます。

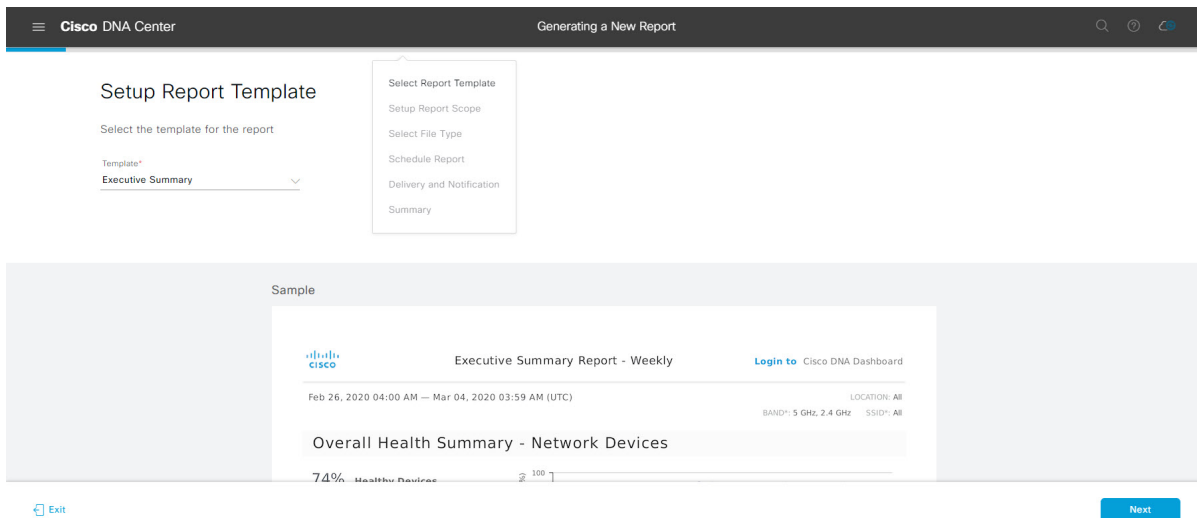
ステップ 7 [Select Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

ドロップダウンリストから [Template] を選択します。

(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 35 : [Setup Report Template]



[Next] をクリックして続行します。[Setup Report Scope] ウィンドウが開きます。

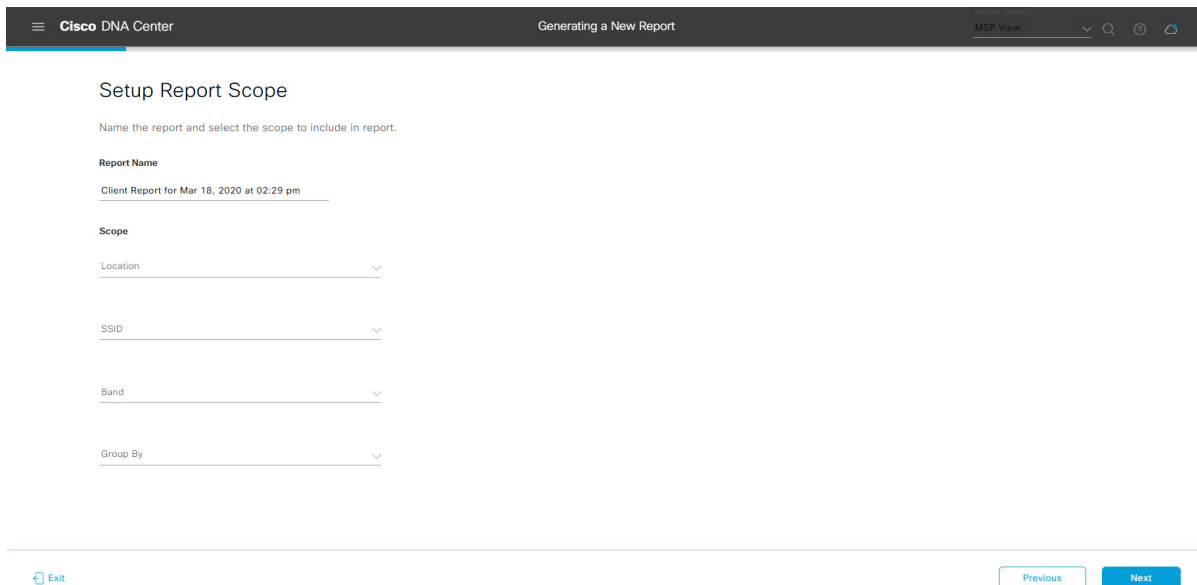
ステップ 8

[Setup Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[ReportName] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Setup Report Scope] オプションは、選択した [Template] に応じて変わります。

図 36 : [Setup Report Scope]



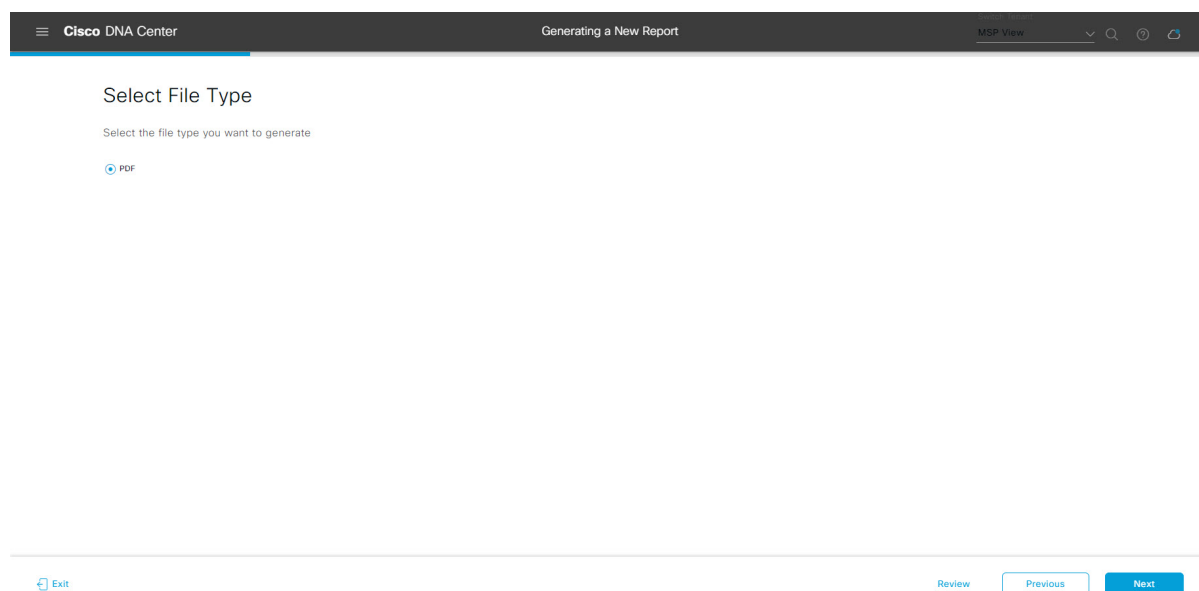
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- **PDF**
- **CSV**
- **Tableau Data Extract**
- **JSON**

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 37: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- **Last 3 hours**
- **Last 24 hours**
- **Last 7 days**
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン (GMT) を選択できるフィールドが表示されます。

[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

次の [Schedule] オプションの設定時にレポートのタイムゾーンを選択することもできます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 38: レポートのスケジュール

The screenshot shows the 'Schedule Report' configuration interface in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. The 'Time Range' section has three radio buttons: 'Last 3 Hours' (selected), 'Last 24 Hours', and 'Last 7 Days'. Below it is a 'Custom' option. The 'Schedule' section has three radio buttons: 'Run Now' (selected), 'Run Later (One-Time)', and 'Run Recurring'. At the bottom of the page, there are four buttons: 'Exit', 'Review', 'Previous', and 'Next'.

[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
(注) 電子メールの SMTP サーバーをまだ設定していない場合は、設定するように求められます。GUI の [Email] タブのプロンプトに従って SMTP サーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] の順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知には、元の通知に戻るリンクと、[Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクがあります。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) レポートへのリンクが埋め込まれた電子メール通知は、最大20の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) PDF レポートは、最大 20 MB の電子メール通知添付ファイルと最大 10 の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

• [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス（コールバック URL）へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンリスト（[Subscription Profile] フィールド）からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

図 39 : [Delivery and Notification]

The screenshot shows the 'Delivery and Notification' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. Under 'Delivery and Notification', there are three radio button options: 'Email Report' (selected), 'As a Link', and 'As an Attachment'. Below these is an 'Add Email' input field. At the bottom, there is a 'Webhook Notification' option. Navigation buttons at the bottom right include 'Review', 'Previous', and 'Next'. An 'Exit' button is located at the bottom left.

[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 40 : [Summary]

The screenshot shows the 'Summary' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. The main heading is 'Summary' with the subtext 'Almost there! Please find below the summary of the Report'. There are four expandable sections: 'Report Name' (Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm), 'Scope' (Location: Not Selected, SSID: Not Selected, Band: Not Selected, Group By: Not Selected), 'File Type' (File Type: PDF), and 'Time Range' (Time Range: Last 3 Hours). Each section has an 'Edit' link. Navigation buttons at the bottom right include 'Previous' and 'Next'. An 'Exit' button is located at the bottom left.

[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 41 : [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center Reports interface. At the top, there is a navigation bar with 'Cisco DNA Center' and 'Reports'. Below this, there are tabs for 'Generated Reports (2)' and 'Report Templates'. A search bar is present with the text 'Search Table'. The main content is a table with the following columns: Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Template Category, Report Template, and Actions. Two report instances are listed:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	...
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm	1	CSV	Client	Client Detail	...

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

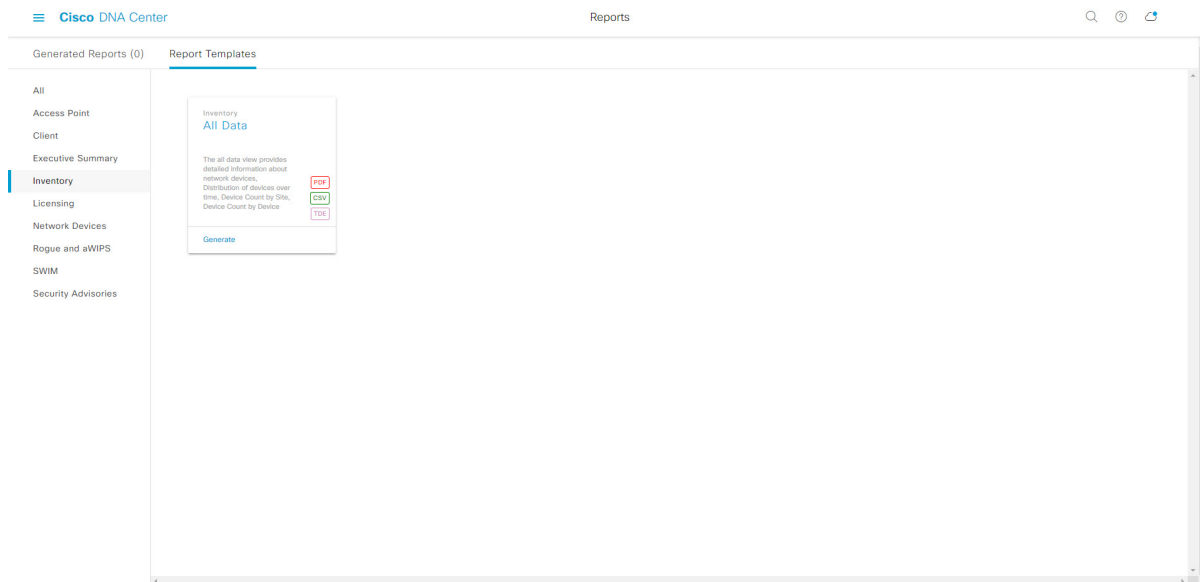


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(91 ページ\)](#) を参照してください。

インベントリレポートの実行

ネットワークについてのインベントリレポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用して、インベントリレポートを設定できます。

図 42 : Inventory Report



始める前に

- 正常なディスクバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスクバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順に選択して結果を表示します。

ステップ 1 メニューアイコン (☰) をクリックして、[Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。リンクは各カテゴリを表します。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

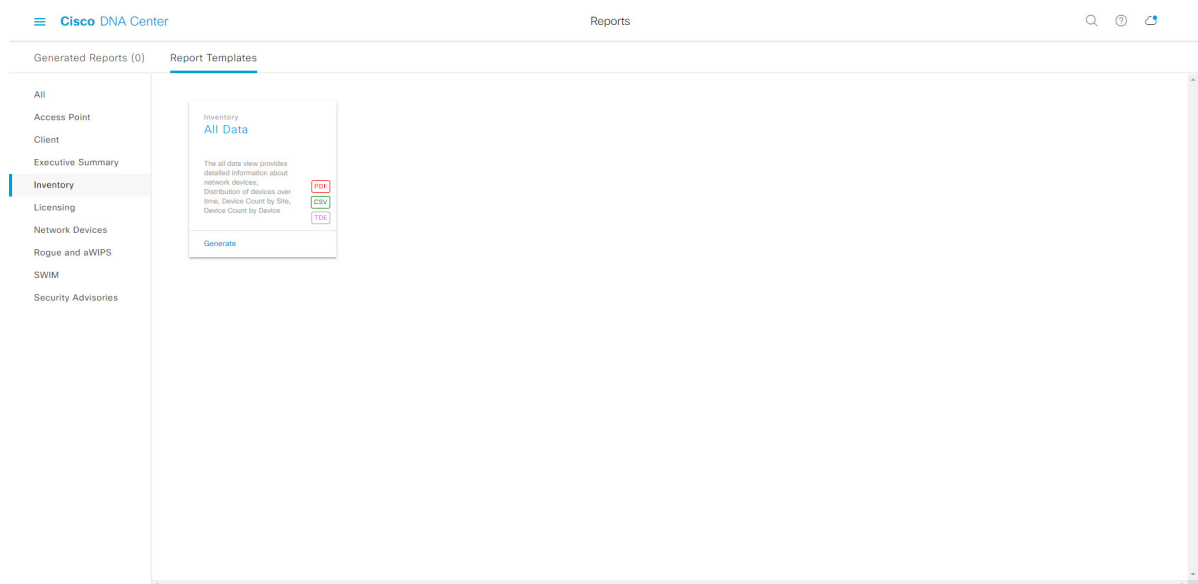
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Licensing] : 非準拠デバイスと非準拠の理由を示すレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。

- [SWIM]：ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。
- [Security Advisories]：ネットワークデバイスに関するシスコのセキュリティアドバイザリ情報を提供するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 43: [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイトルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、インベントリレポートの場合は、[All Data] レポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（PDF、CSV、TDE）もタイトル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイトルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

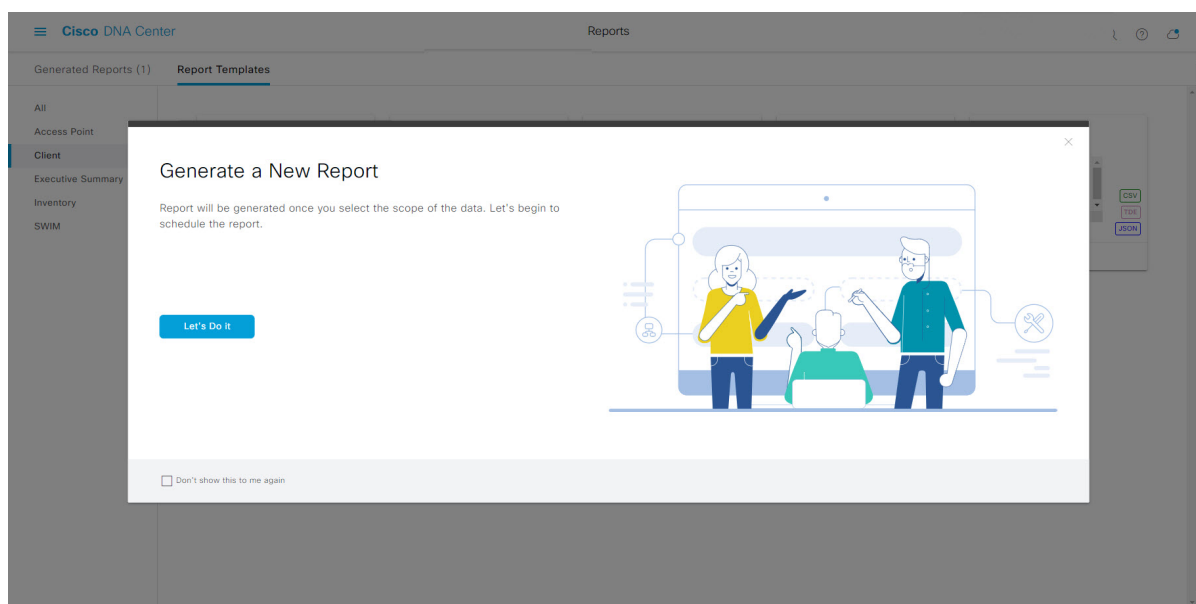
(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

ステップ4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイトルで **[Generate]** リンクをクリックします。
[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ6 **[Generate a New Report]** ウィンドウで、**[Let's Do It]** をクリックして生成を開始します。

図 44: **[Generate a New Report]**



[Select Report Template] ウィンドウが開きます。

ステップ7 **[Select Report Template]** ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

ドロップダウンリストから **[Template]** を選択します。

(注) **[Template]** には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 45: [Setup Report Template]

[Next] をクリックして続行します。[Setup Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 8 [Setup Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[ReportName] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Setup Report Scope] オプションは、選択した [Template] に応じて変わります。

図 46: [Setup Report Scope]

[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- PDF
- CSV
- **Tableau Data Extract**
- JSON

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 47: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- Last 3 hours
- Last 24 hours
- Last 7 days
- Custom

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン（GMT）を選択できるフィールドが表示されます。

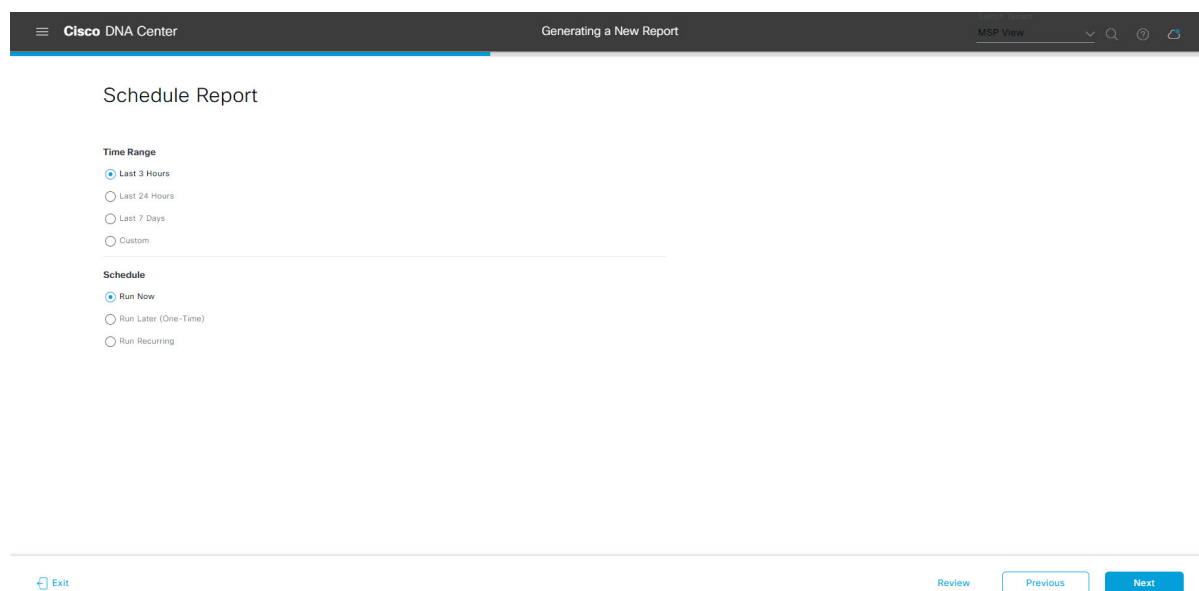
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

次の [Schedule] オプションの設定時にレポートのタイムゾーンを選択することもできます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 48: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
 - (注) 電子メールの SMTP サーバーをまだ設定していない場合は、設定するように求められます。GUI の [Email] タブのプロンプトに従って SMTP サーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] の順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知には、元の通知に戻るリンクと、[Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクがあります。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) レポートへのリンクが埋め込まれた電子メール通知は、最大20の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) PDF レポートは、最大 20 MB の電子メール通知添付ファイルと最大 10 の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
 - インポートプロセスは進行中です。
 - レポートのコンパイルが正常に完了しました。
- [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス（コールバック URL）へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンリスト（[Subscription Profile] フィールド）からウェブフックを選択します。
- (注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

図 49: [Delivery and Notification]

[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 50: [Summary]

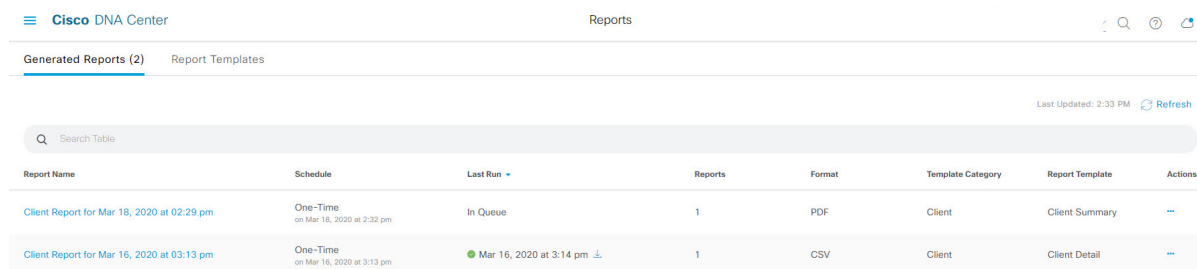
[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 51 : [Generated Reports]



The screenshot shows the Cisco DNA Center interface for the Reports section. It features a search bar, a table of generated reports, and a refresh button. The table has columns for Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Template Category, Report Template, and Actions.

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	...
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	...

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

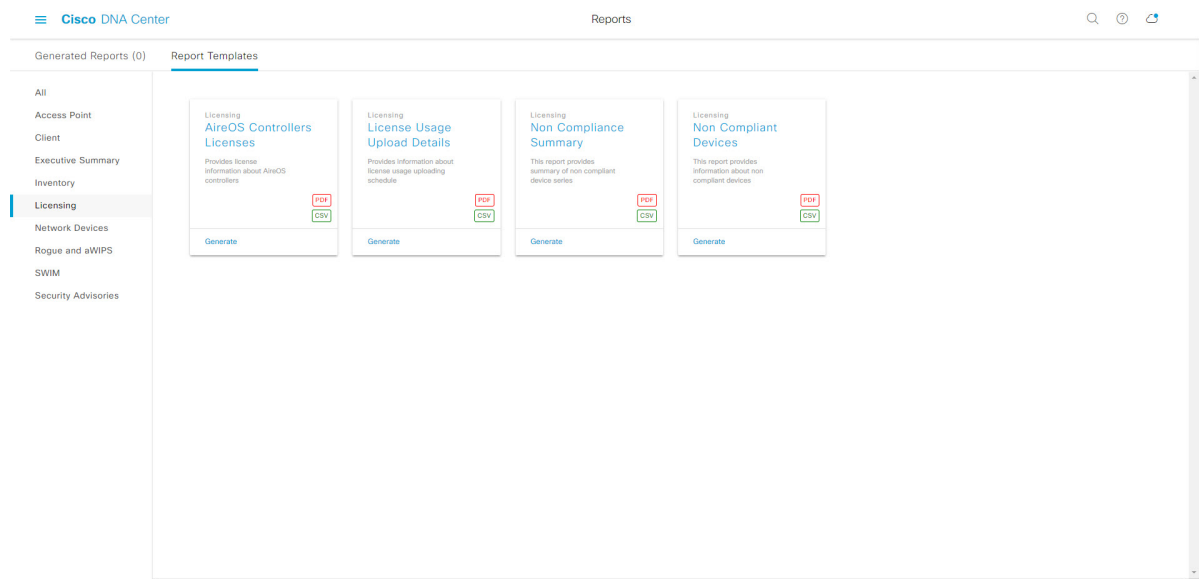


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(91 ページ\)](#) を参照してください。

ライセンスレポートの実行

ネットワークについてのライセンスレポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用してライセンスレポートを設定できます。

図 52: ライセンスレポート



始める前に

- 正常なディスカバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスカバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順に選択して結果を表示します。

ステップ 1 メニューアイコン (☰) をクリックして、[Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。リンクは各カテゴリを表します。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

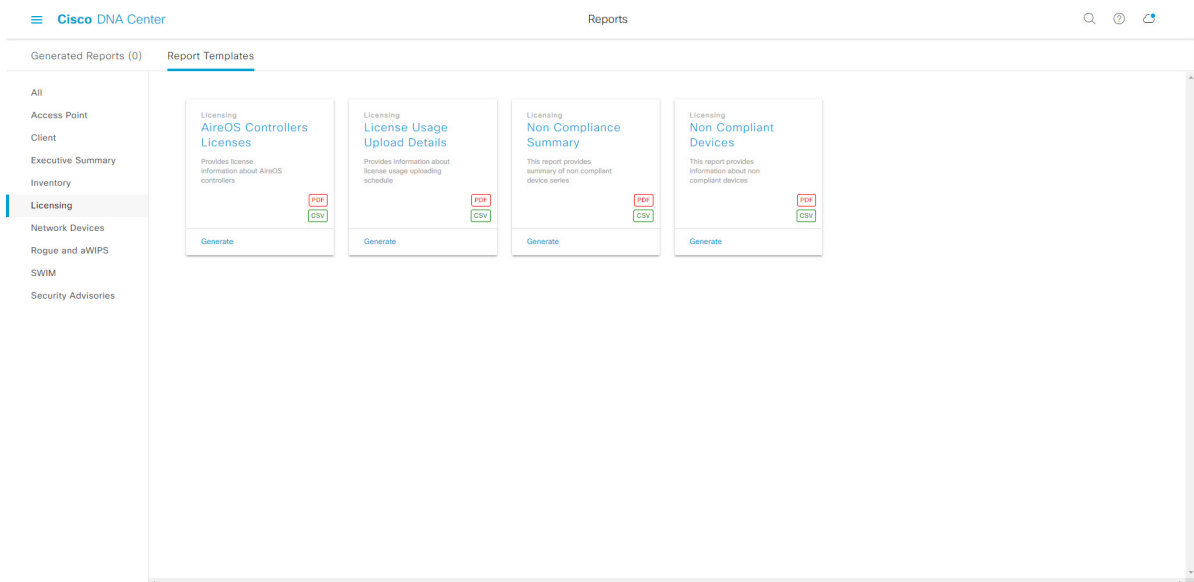
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Licensing] : 非準拠デバイスと非準拠の理由を示すレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。

- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスを、そのソフトウェアおよびバージョンとともに一覧表示するレポート。
- [Security Advisories] : ネットワークデバイスに関するシスコのセキュリティアドバイザリ情報を提供するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 53: [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、ライセンスレポートの場合は、[AireOS Controllers Licenses] レポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（PDF または CSV）もタイル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データの分析を支援するテーブル。

(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

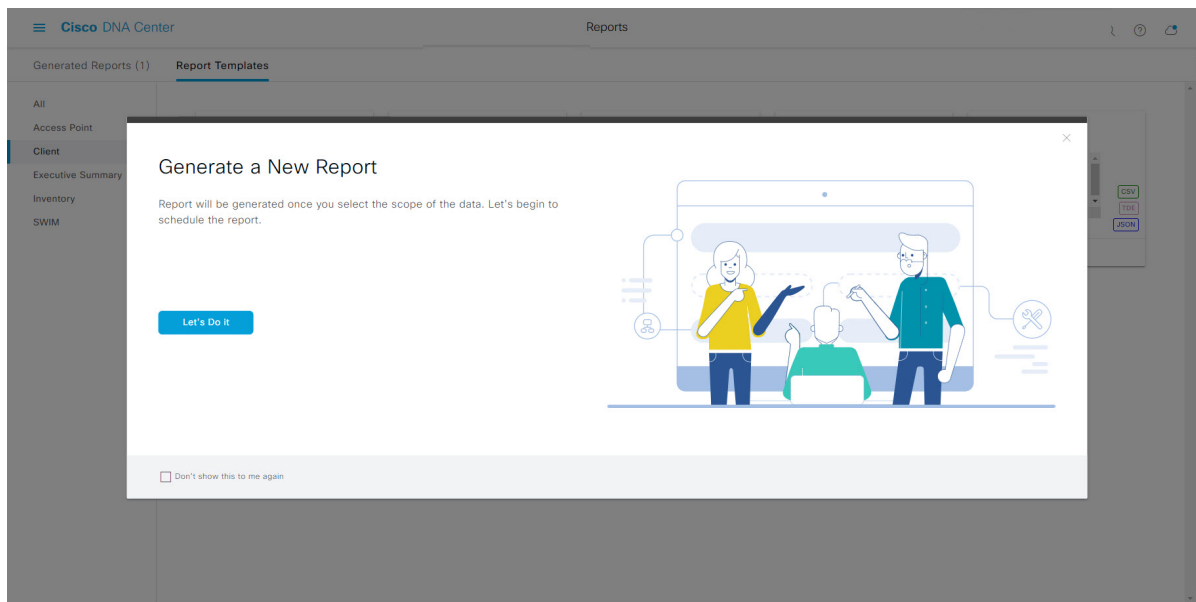
ステップ4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイトルで **[Generate]** リンクをクリックします。

[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ6 **[Generate a New Report]** ウィンドウで、**[Let's Do It]** をクリックして生成を開始します。

図 54 : **[Generate a New Report]**



[Select Report Template] ウィンドウが開きます。

ステップ7 **[Select Report Template]** ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

ドロップダウンリストから **[Template]** を選択します。

(注) **[Template]** には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 55 : [Select Report Template]

Exit

Next

Device Name	Device Type	Ip Address	Device Series	Mac Address	DNA License Level	Network License Level	Virtual Account	Site	Registration Status	Total AP count	License Consumed
WLC-14.10-35.1.1.1	Wireless Controller	35.1.1.1	Cisco 5500 Series Wireless LAN Controllers	23-02-03-04-60-a0		NA	NA	Unassigned	Unknown	100	100

[Next] をクリックして続行します。[Setup Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 8

[Setup Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[ReportName] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールド内をクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Setup Report Scope] オプションは、選択した [Template] に応じて変わります。

図 56 : [Setup Report Scope]

Exit

Previous

Next

[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

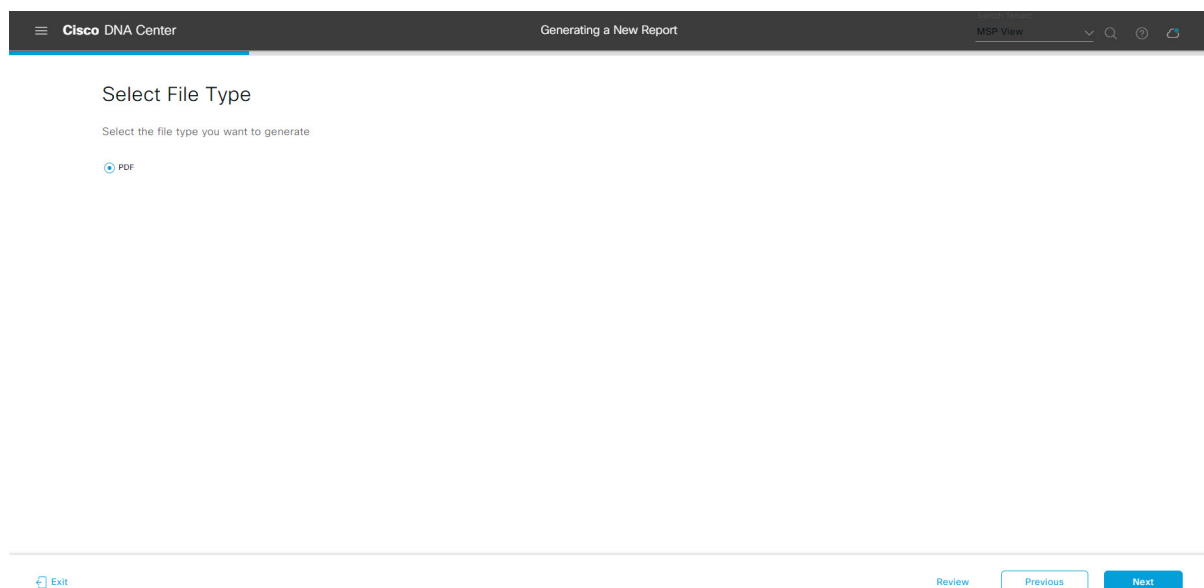
ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。

[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- **PDF**
- **CSV**
- **Tableau Data Extract**
- **JSON**

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 57: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。

[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- **Last 3 hours**
- **Last 24 hours**
- **Last 7 days**
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定レポートタイプの期間の日時と時間範囲のタイムゾーン (GMT) を選択できるフィールドが表示されます。

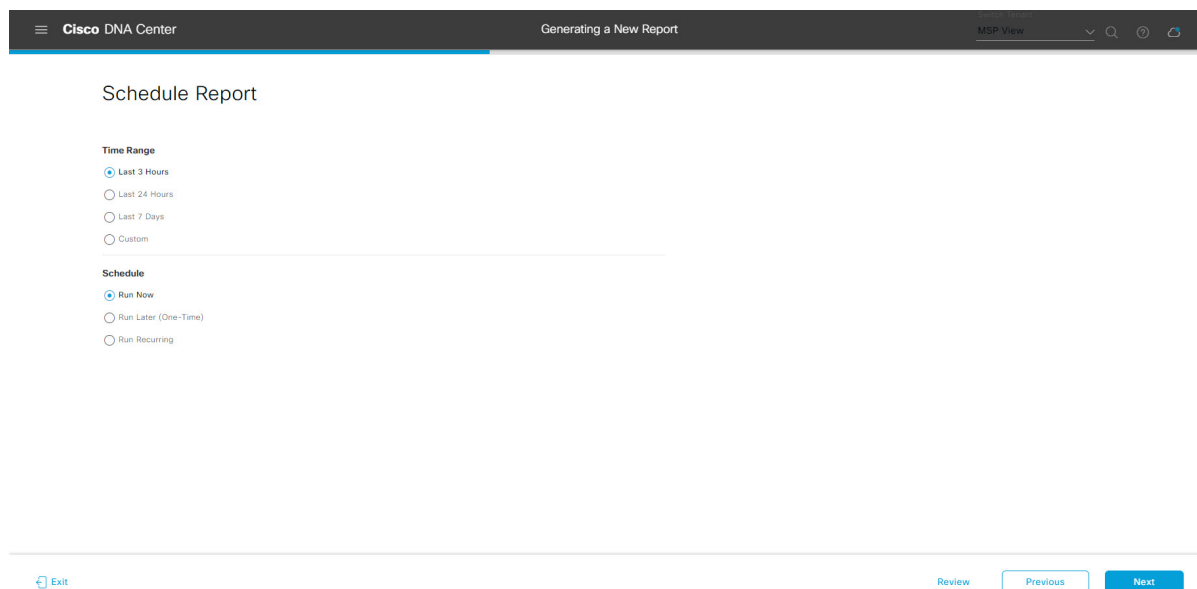
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

次の [Schedule] オプションの設定時にレポートのタイムゾーンを選択することもできます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 58: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

- [Email Report] : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。

(注) 電子メールの SMTP サーバーをまだ設定していない場合は、設定するように求められます。GUI の [Email] タブのプロンプトに従って SMTP サーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] タブの順にクリックします。

- [Link] : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知には、レポートへのリンクと、[Reports] の [Generate Reports] ページへのリンクがあります。ここから、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) レポートへのリンクが埋め込まれた電子メール通知は、最大20の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) PDF レポートは、最大 20 MB の電子メール通知添付ファイルと最大 10 の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

• [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス（コールバック URL）へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンリスト（[Subscription Profile] フィールド）からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System]>[Settings]>[External Services]>[Destinations]>[Webhook]の順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知（「In Queue」、「In Progress」、「Success」など）が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

図 59 : [Delivery and Notification]

The screenshot shows the 'Delivery and Notification' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. Under 'Delivery and Notification', there are three radio button options: 'Email Report' (selected), 'As a Link', and 'As an Attachment'. Below these is an 'Add Email' input field. There is also an option for 'Webhook Notification'. At the bottom right, there are 'Review', 'Previous', and 'Next' buttons.

[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、構成を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 60 : [Summary]

The screenshot shows the 'Summary' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. The main heading is 'Summary' with the subtext 'Almost there! Please find below the summary of the Report'. There are four expandable sections: 'Report Name' (Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm), 'Scope' (Location: Not Selected, SSID: Not Selected, Band: Not Selected, Group By: Not Selected), 'File Type' (File Type: PDF), and 'Time Range' (Time Range: Last 3 Hours). At the bottom right, there are 'Previous' and 'Next' buttons.

[Next] をクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが表示され、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が示されます。

図 61 : [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center Reports page. At the top, there is a navigation bar with 'Cisco DNA Center' and 'Reports'. Below this, there are tabs for 'Generated Reports (2)' and 'Report Templates'. A search bar is present with the text 'Search Table'. The main content is a table with the following columns: Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Template Category, Report Template, and Actions. Two reports are listed:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	...
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	...

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

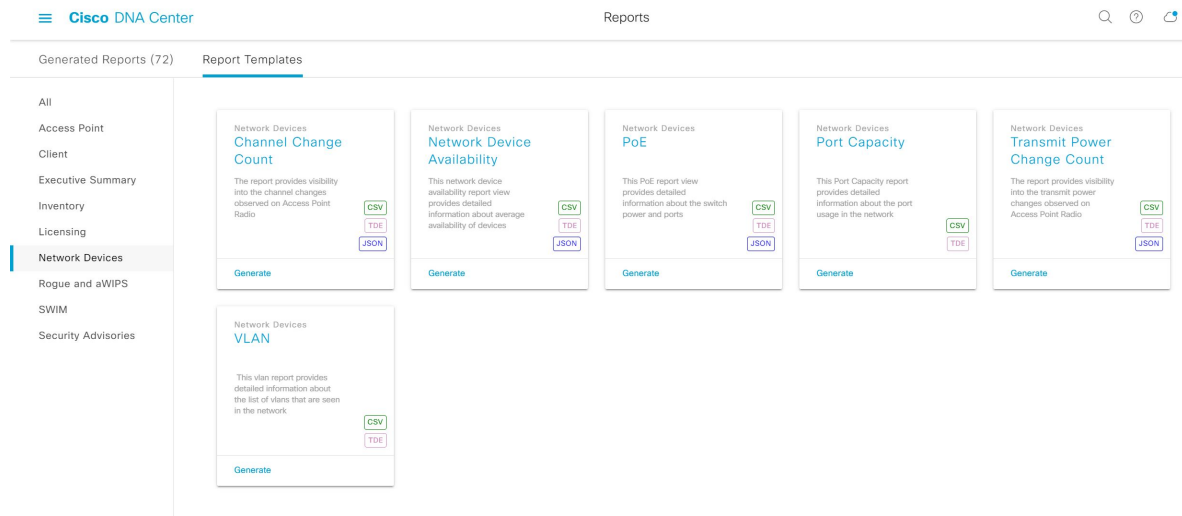


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(91 ページ\)](#) を参照してください。

ネットワーク デバイス レポートの実行

ネットワークについてのネットワーク デバイス レポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用して、ネットワーク デバイス レポートを設定できます。

図 62: ネットワーク デバイス レポート



始める前に

- 正常なディスクバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスクバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順に選択して結果を表示します。

ステップ 1 メニューアイコン (☰) をクリックして、[Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。各カテゴリはリンクで表されます。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

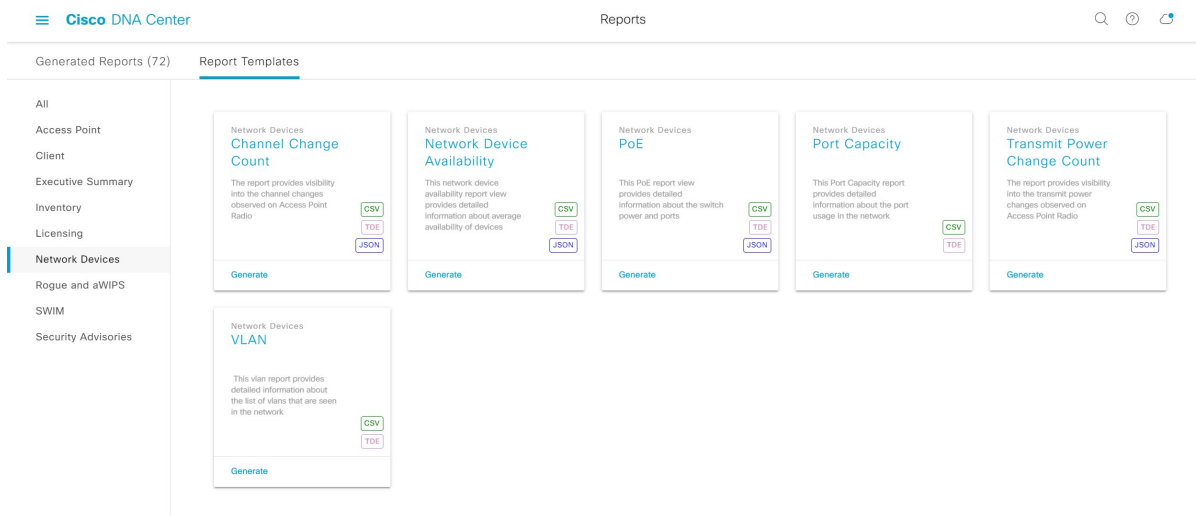
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Licensing] : 非準拠デバイスと非準拠の理由を一覧表示するレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。
- [SWIM] : ネットワーク内のデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。

- [Security Advisories]：ネットワークデバイスに関するシスコのセキュリティアドバイザリ情報を提供するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 63: ネットワーク デバイス レポート



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイトルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、ネットワーク デバイス レポートの場合、チャンネル変更カウント、ネットワークデバイス可用性、PoE、ポート容量、送信電力変更カウント、または VLAN のレポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（CSV、TDE、JSON）もタイトル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイトルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

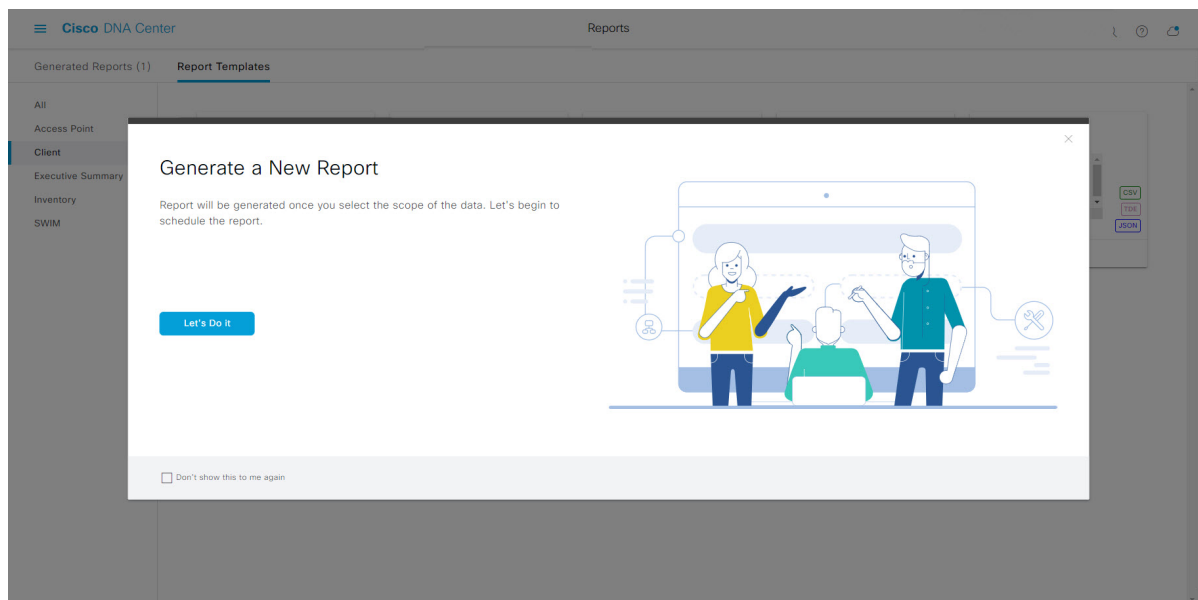
ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイトルで [Generate] リンクをクリックします。

[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ 6 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 64: [Generate a New Report]



[Setup the Report Template] ウィンドウが開きます。

ステップ 7 [Setup the Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

[Template] ドロップダウンメニューからいずれかを選択します。

(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 65 : [Setup Report Template]

Select Report Template

Select the template for the report

Template*
Network Device Availability

Preview

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	Filters							
2								
3	Location	Global/SH/SH-B1, Global/SH/XINSI/4F						
4	Device Type	Access Point						
5	Start Time	2020-04-25 13:50:42.423 PM UTC						
6	End Time	2020-04-26 13:50:42.423 PM UTC						
7								
8	Device Type	Device Name	Device IP Address	Location	Software Version	Availability (%)		
9	Access Point	AP3802-102	10.79.59.102	Global/SH/XINSI/4F	8.10.105.0	100%		
10	Access Point	AP1852-113	10.79.59.113	Global/SH/XINSI/4F	8.10.105.0	100%		
11	Access Point	C9120-115	10.79.59.115	Global/SH/SH-B1/5F	8.10.105.0	100%		
12	Access Point	AP2802-117	10.79.59.117	Global/SH/XINSI/4F	8.10.105.0	100%		
13	Access Point	AP3802-101	10.79.59.101	Global/SH/XINSI/4F	8.10.105.0	100%		
14	Access Point	DT-AP-7	128.2.1.7	Global/SH/XINSI/4F	8.5.97.168	0%		
15	Access Point	AP1815-69	10.79.46.69	Global/SH/XINSI/4F	8.10.105.0	100%		
16	Access Point	AP4800-68	10.79.46.68	Global/SH/XINSI/4F	8.10.105.0	100%		

Exit Next

[Next] をクリックして続行します。[Setup Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 8 [Setup Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[Report Name] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Setup Report Scope] オプションは、選択した [Template] に応じて変わります。

図 66 : [Setup Report Scope]

Setup Report Scope

Name the report and select the scope to include in report.

Report Name
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm

Scope

Location

SSID

Band

Group By

Exit Previous Next

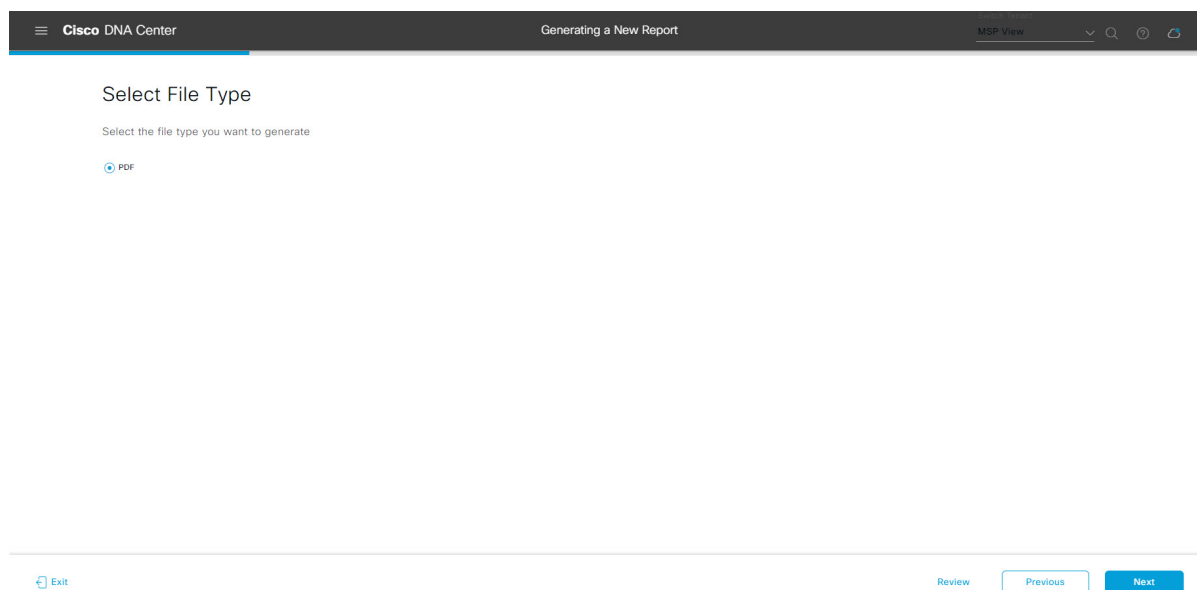
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- PDF
- CSV
- Tableau Data Extract
- JSON

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 67: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- Last 3 hours
- Last 24 hours
- Last 7 days
- Custom

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン（GMT）を選択できるフィールドが表示されます。

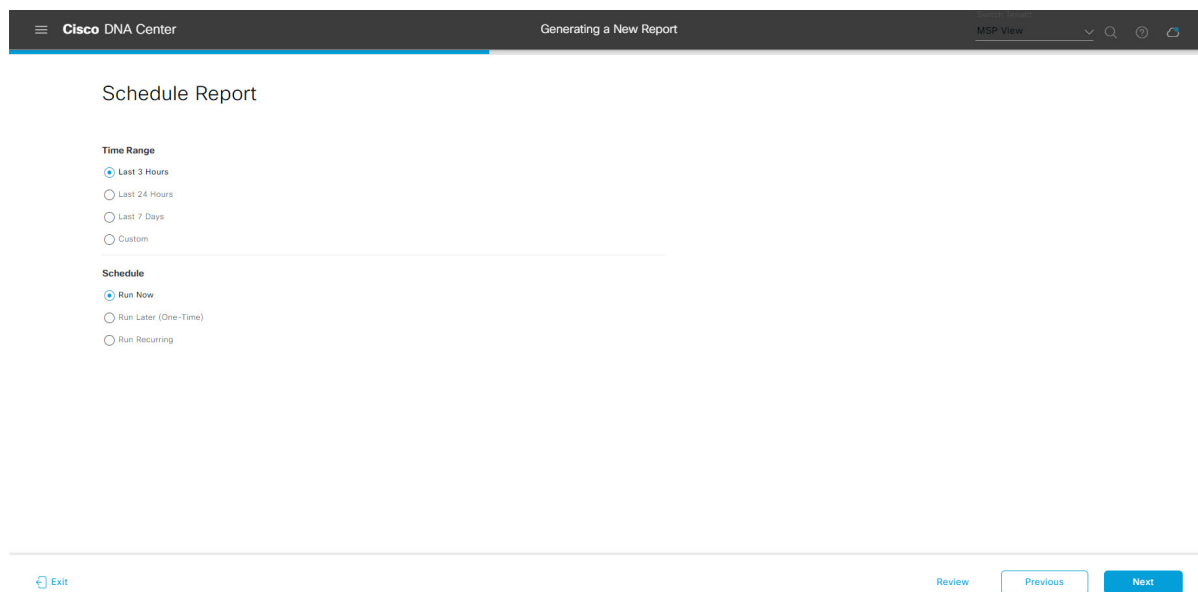
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

[Schedule] で次のオプションを選択した場合は、レポートのタイムゾーンも選択できます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 68: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
 - (注) 電子メールのSMTPサーバーをまだ設定していない場合は設定するように求められます。GUIの [Email] タブのプロンプトに従ってSMTPサーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] の順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知に、元のレポートと [Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクが含まれます。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) レポートへのリンクが埋め込まれた電子メール通知は、最大20の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) PDF レポートは、最大 20 MB の電子メール通知添付ファイルと最大 10 の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

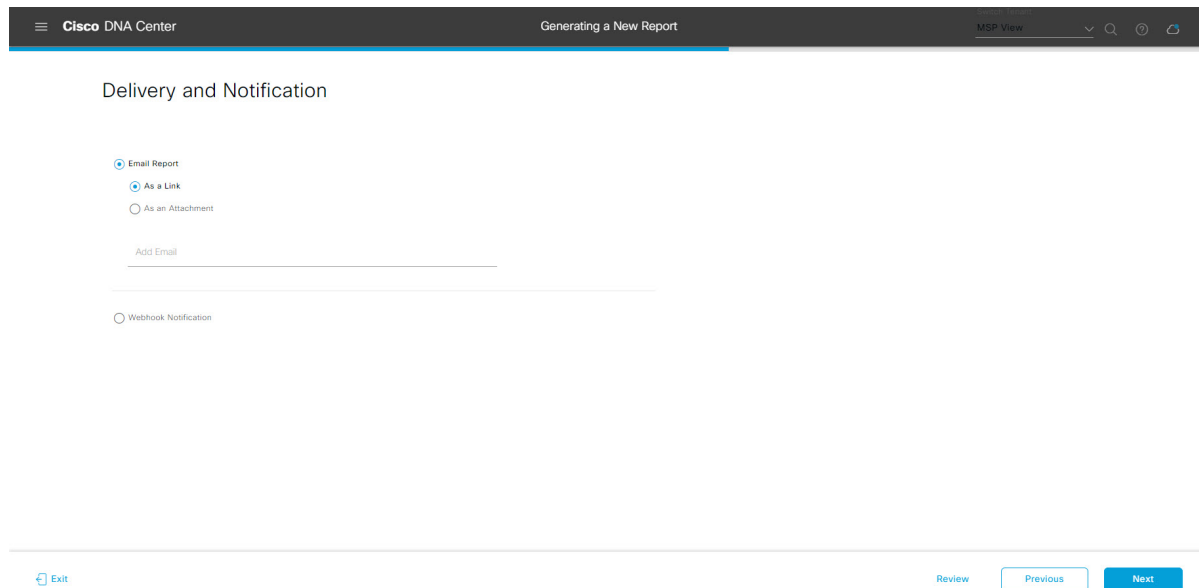
- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

• [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス（コールバック URL）へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンメニュー（[Subscription Profile] フィールド）からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

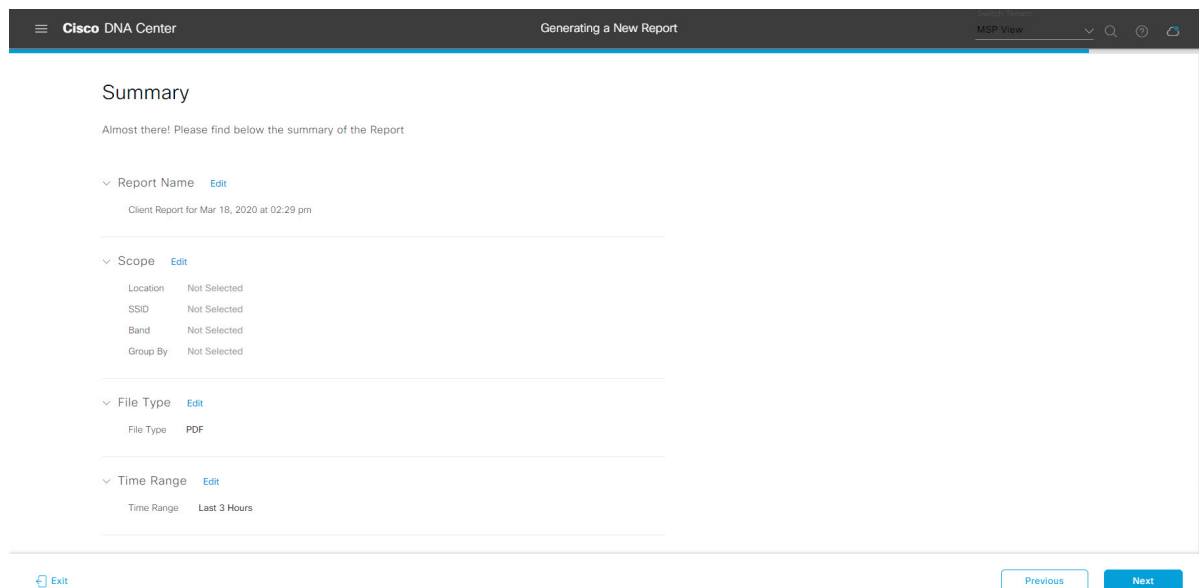
図 69: [Delivery and Notification]



[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 70: [Summary]



[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 71 : [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center Reports page. The page title is "Cisco DNA Center" and "Reports". There are tabs for "Generated Reports (2)" and "Report Templates". A search bar is present with the text "Search Table". The table below lists generated reports with columns: Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Template Category, Report Template, and Actions.

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	...
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	...

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

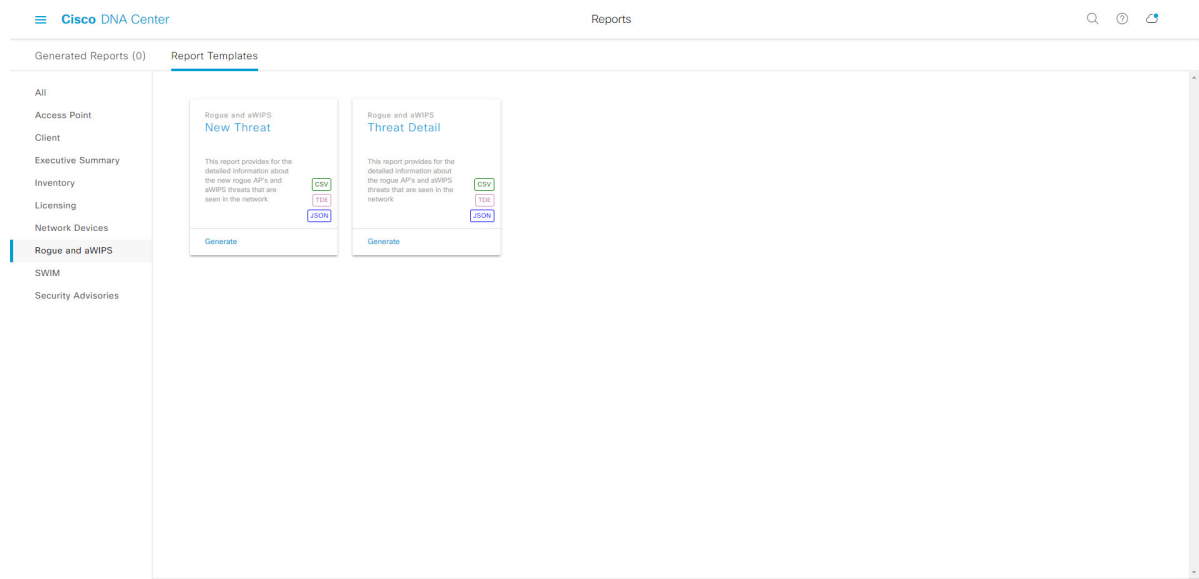


- (注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(91 ページ\)](#) を参照してください。

不正および aWIPS レポートの実行

ネットワークについての不正および aWIPS レポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用して不正および aWIPS レポートを設定できます。

図 72: 不正および aWIPS レポート



始める前に

- 正常なディスカバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスカバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順に選択して結果を表示します。

ステップ 1 メニューアイコン (☰) をクリックして、[Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。リンクは各カテゴリを表します。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

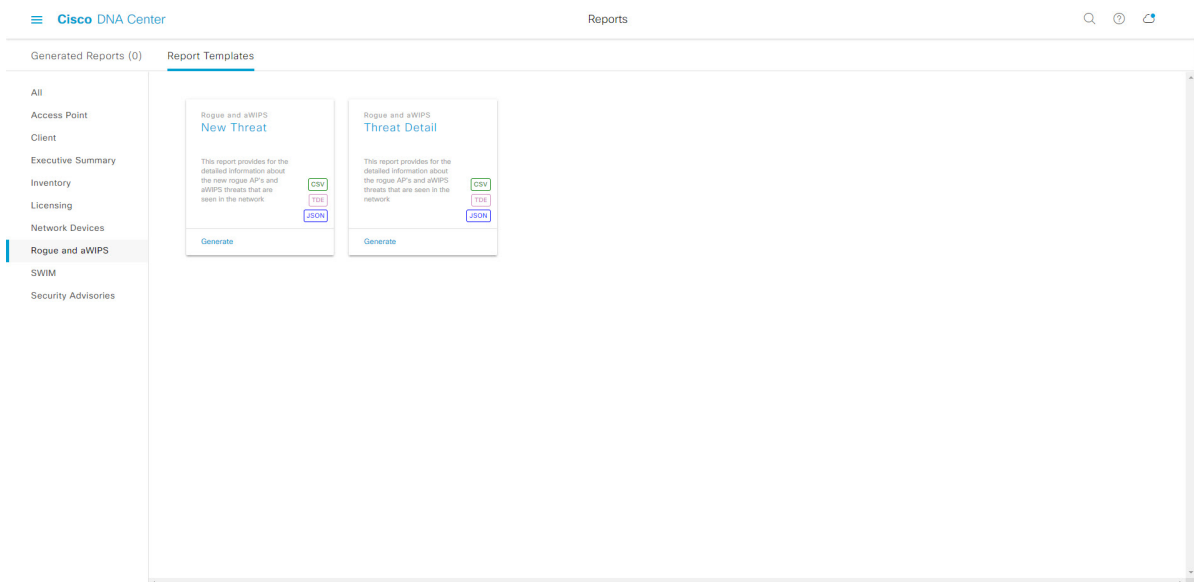
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Licensing] : 非準拠デバイスと非準拠の理由を示すレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。

- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。
- [Security Advisories] : ネットワークデバイスに関するシスコのセキュリティアドバイザリ情報を提供するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 73: [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、不正および aWIPS レポートの場合、「**New Threat**（新しい脅威）」レポートまたは「**Threat Detail**（脅威の詳細）」レポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（CSV、TDE、JSON）もタイル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

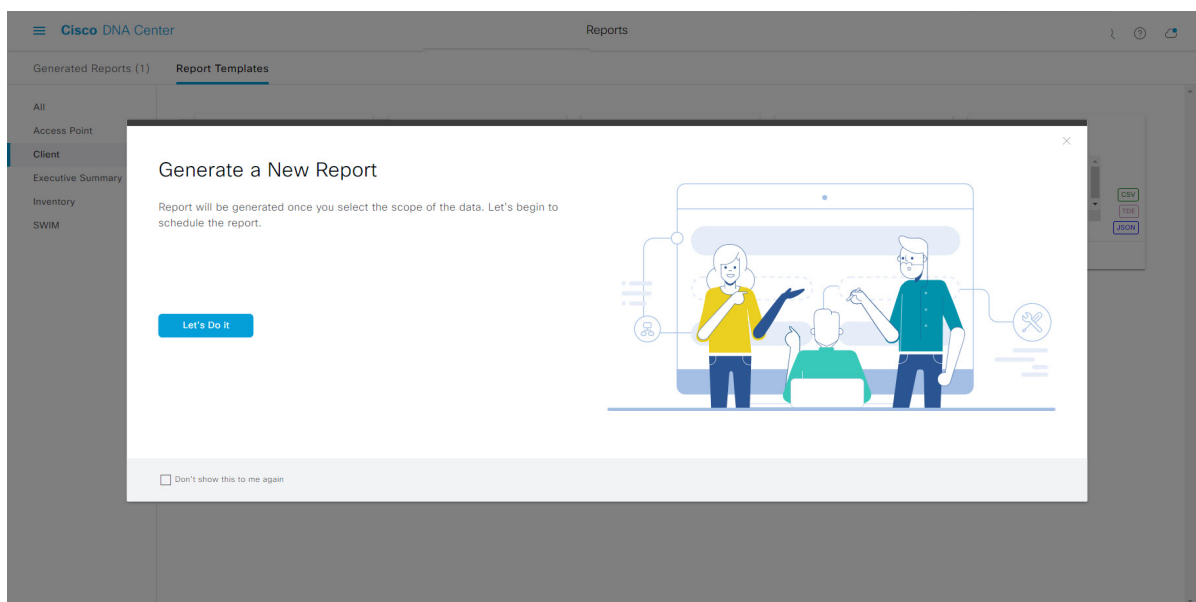
ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイトルで [Generate] リンクをクリックします。

[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ 6 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 74: [Generate a New Report]



[Select Report Template] ウィンドウが開きます。

ステップ 7 [Select Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

ドロップダウンリストから [Template] を選択します。

(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 75 : [Setup Report Template]

[Next] をクリックして続行します。[Setup Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 8

[Setup Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[ReportName] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Setup Report Scope] オプションは、選択した [Template] に応じて変わります。

図 76 : [Setup Report Scope]

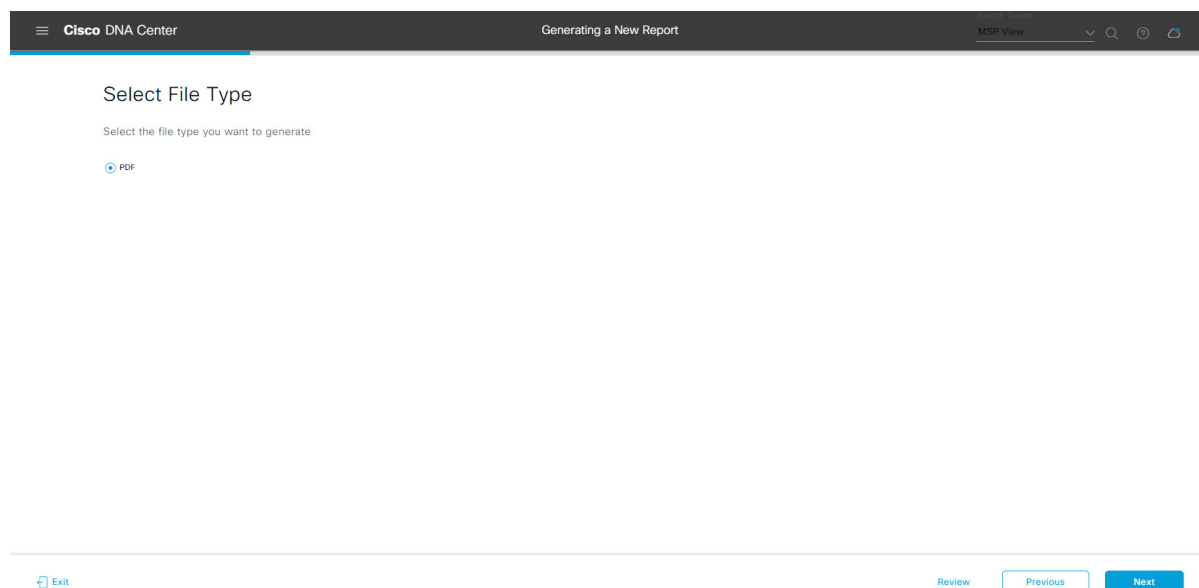
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- **PDF**
- **CSV**
- **Tableau Data Extract**
- **JSON**

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 77: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- **Last 3 hours**
- **Last 24 hours**
- **Last 7 days**
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン (GMT) を選択できるフィールドが表示されます。

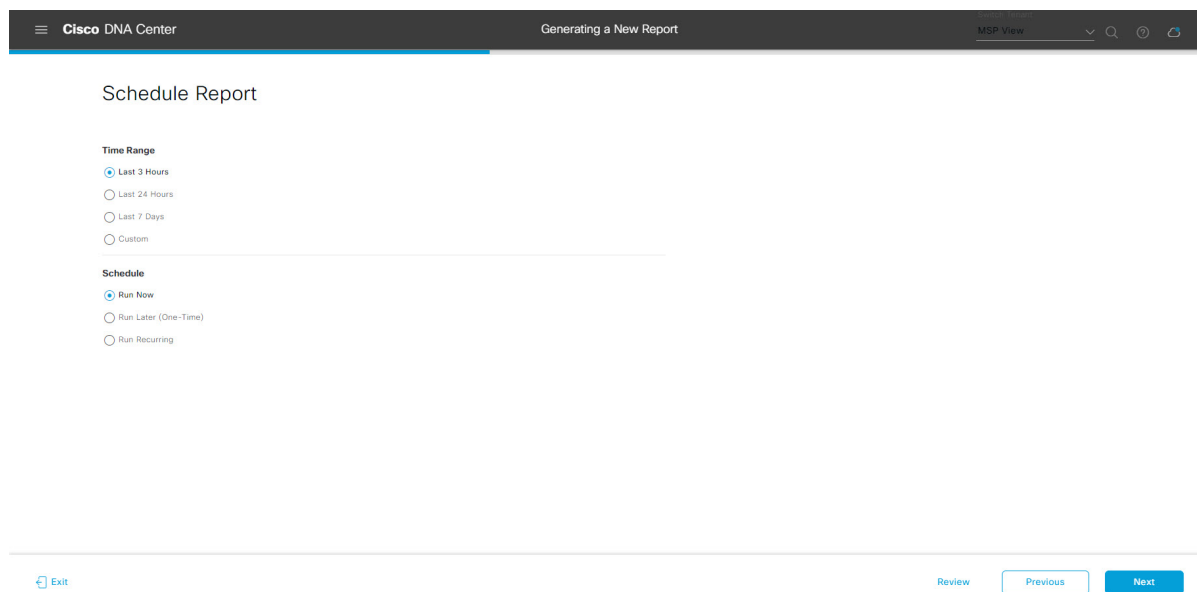
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

次の [Schedule] オプションの設定時にレポートのタイムゾーンを選択することもできます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 78: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
 - (注) 電子メールの SMTP サーバーをまだ設定していない場合は、設定するように求められます。GUI の [Email] タブのプロンプトに従って SMTP サーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] の順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知には、元の通知に戻るリンクと、[Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクがあります。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) レポートへのリンクが埋め込まれた電子メール通知は、最大20の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) PDF レポートは、最大 20 MB の電子メール通知添付ファイルと最大 10 の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

• [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス（コールバック URL）へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンリスト（[Subscription Profile] フィールド）からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

図 79: [Delivery and Notification]

The screenshot shows the 'Delivery and Notification' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. Under 'Delivery and Notification', there are three radio button options: 'Email Report' (selected), 'As a Link', and 'As an Attachment'. Below these is an 'Add Email' input field. At the bottom, there is a 'Webhook Notification' radio button. Navigation buttons at the bottom right include 'Review', 'Previous', and 'Next'. An 'Exit' button is at the bottom left.

[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 80: [Summary]

The screenshot shows the 'Summary' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. The main heading is 'Summary' with the subtext 'Almost there! Please find below the summary of the Report'. There are four expandable sections: 'Report Name' (Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm), 'Scope' (Location: Not Selected, SSID: Not Selected, Band: Not Selected, Group By: Not Selected), 'File Type' (File Type: PDF), and 'Time Range' (Time Range: Last 3 Hours). Each section has an 'Edit' link. Navigation buttons at the bottom right include 'Previous' and 'Next'. An 'Exit' button is at the bottom left.

[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 81 : [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center Reports interface. At the top, there is a navigation bar with 'Cisco DNA Center' and 'Reports'. Below this, there are tabs for 'Generated Reports (2)' and 'Report Templates'. A search bar is present with the text 'Search Table'. A table lists two reports:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	⋮
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	⋮

Additional details in the screenshot include 'Last Updated: 2:33 PM' and a 'Refresh' button.

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。



(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(91 ページ\)](#) を参照してください。

ROI レポートの実行

Cisco DNA Center プラットフォームの ROI インサイトレポートは、Cisco DNA Center によるネットワーク運用の生産性向上、および従来の NMS と比較した ROI に関する知見を示すカスタマイズされたレポートです。

次の手順では、ネットワーク運用に関する ROI レポートを設定する方法について説明します。

ステップ 1 メニューアイコン (☰) をクリックして、**[Reports] > [Usage Insights]** の順に選択します。

[Usage Insights] ウィンドウには、次の情報が表示されます。

- [SAVINGS] : 選択した時間範囲について、Cisco DNA Center によるネットワーク運用で節約された時間とコストが表示されます。
- [ROI Insights] : [Features]、[Time Saved]、[Cost Saved]、[Usage KPI]、[Traditional NMS] の時間、[Cisco DNA Center] の時間、[Actions] に基づいて作成された ROI インサイトレポートが一覧表示されます。
- [Savings Trends] : ROI インサイトレポートの [Cost] と [Time] の節約傾向が表示されます。

(注) [Savings Trends] 領域は、選択した時間範囲が 1 か月を超えている場合にのみ表示されます。

ステップ 2 [Campus Network Assurance]、[Network Device Onboarding]、[Campus Software Image Management]、[Campus Network Segmentation] の各領域で、従来の NMS および Cisco DNA Center の [Hours] と [Minutes] の名前フィールドに時間の節約を入力します。

- [Traditional NMS] : Cisco DNA Center なしでネットワークの問題を検出して解決するのに要する平均時間。
- [Cisco DNA Center] : Cisco DNA Center でネットワークの問題を検出して解決するのに要する平均時間。

ステップ 3 [Cost Inputs] と [IT Inputs] を変更するには、[Customize ROI Insights] をクリックして変更を加えます。

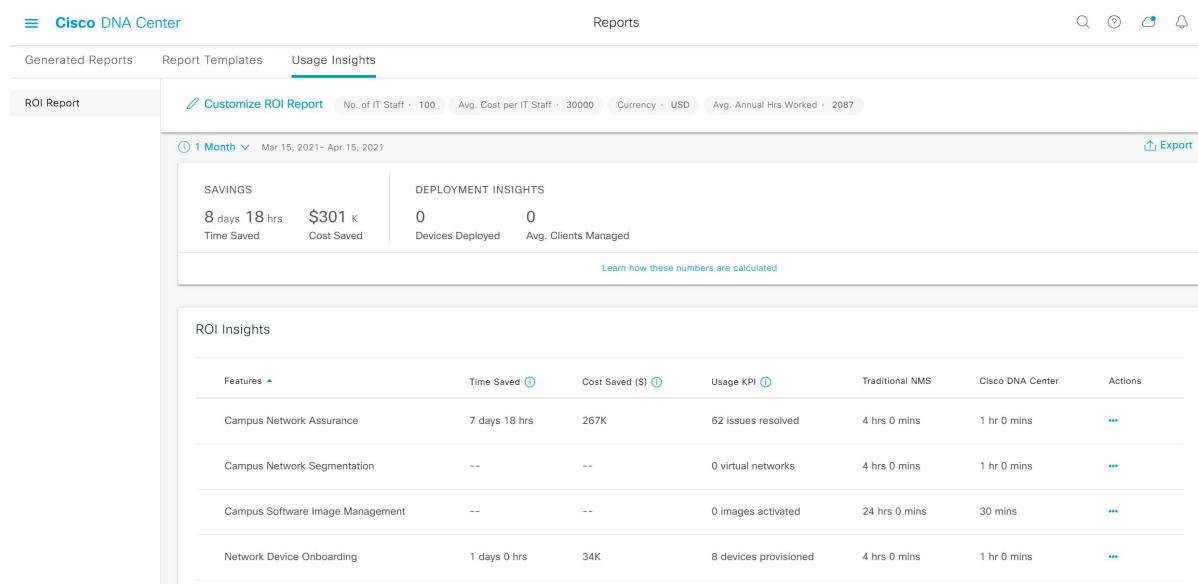
[Customize ROI Insights] 領域には、事前設定済みの [Cost per IT Staff]、[Currency]、[No. of IT Staff]、[Avg. Annual Hrs Worked] が表示されます。

ステップ 4 機能について時間の節約を編集するには、[Actions] 列の下にある対応する [Edit] リンクをクリックし、後続のポップアップウィンドウで時間を更新します。

ステップ 5 ROI レポートを表示する時間範囲を選択するには、[Customize ROI Insights] ペインの下にある時間範囲のドロップダウンリストをクリックし、時間範囲のオプションボタンをクリックします。

- 利用可能な時間範囲オプション ([1 Month]、[3 Months]、[6 Months]、[1 Year]) から選択します。
- ROI レポートの時間範囲をカスタマイズするには、時間範囲のドロップダウンリストをクリックし、[Custom] をクリックして、[Start Date] と [End Date] を定義します。

図 82 : [Usage Insights] レポートダッシュボード



ステップ 6 計算の詳細を表示するには、中央のペインの [ROI Insights] テーブルの上にある [Learn how these numbers are calculated] をクリックします。

[Calculation Details] ウィンドウには、[Time Saved] と [Cost Saved] の計算方法が表示されます。

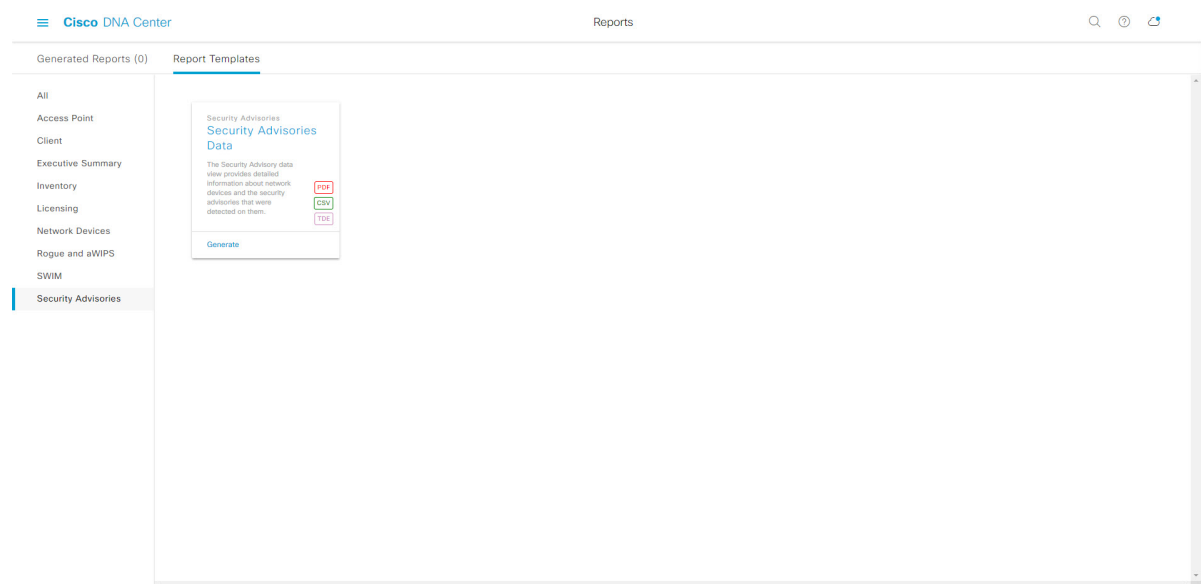
ステップ 7 ROI レポートをエクスポートするには、[Export] をクリックします。

レポートでサポートされているファイルタイプは、PDF と CSV です。

セキュリティアドバイザリレポートの実行

ネットワークについてのセキュリティアドバイザリレポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用してセキュリティアドバイザリレポートを設定することができます。

図 83: セキュリティアドバイザリレポート



始める前に

- 正常なディスクバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスクバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順に選択して結果を表示します。

ステップ 1 メニューアイコン (☰) をクリックして、[Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。リンクは各カテゴリを表します。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

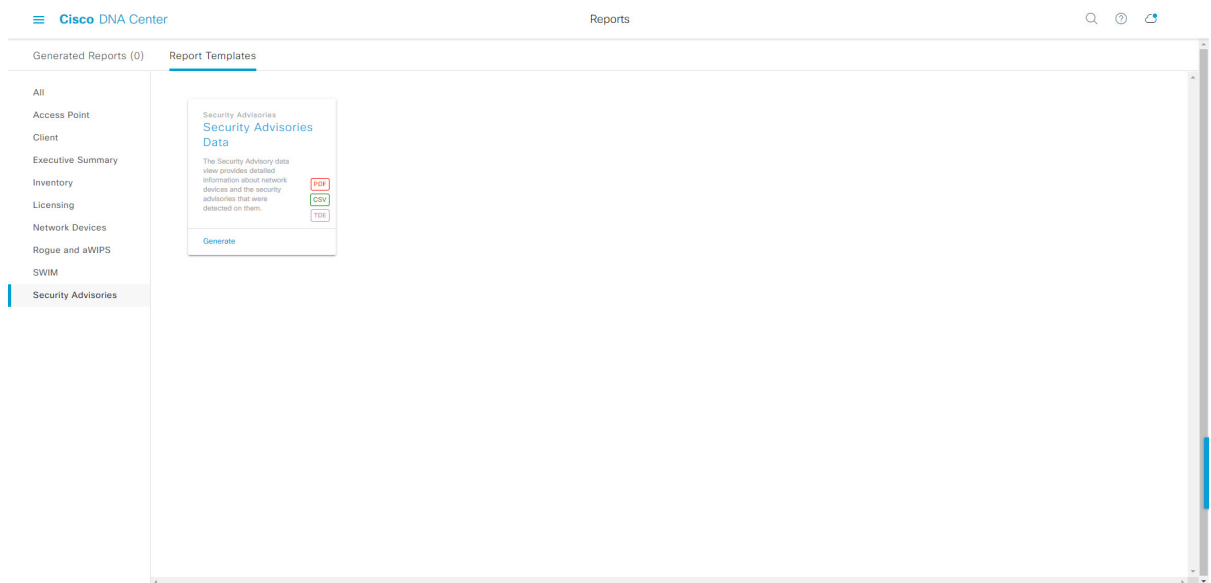
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。

- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Licensing] : 非準拠デバイスと非準拠の理由を示すレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。
- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。
- [Security Advisories] : ネットワークデバイスに関するシスコのセキュリティアドバイザリ情報を提供するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されません。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 84 : [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイトルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、**セキュリティアドバイザリレポート**の場合、**セキュリティアドバイザリデータ**レポートを作成することができます。サポートされるレポートのファイルタイプ（PDF、CSV、TDE）もタイトル内にアイコンで示されます。

ステップ3 サンプルレポートを表示するには、タイルでヘッダーをクリックします。
 サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データの分析を支援するテーブル。

(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

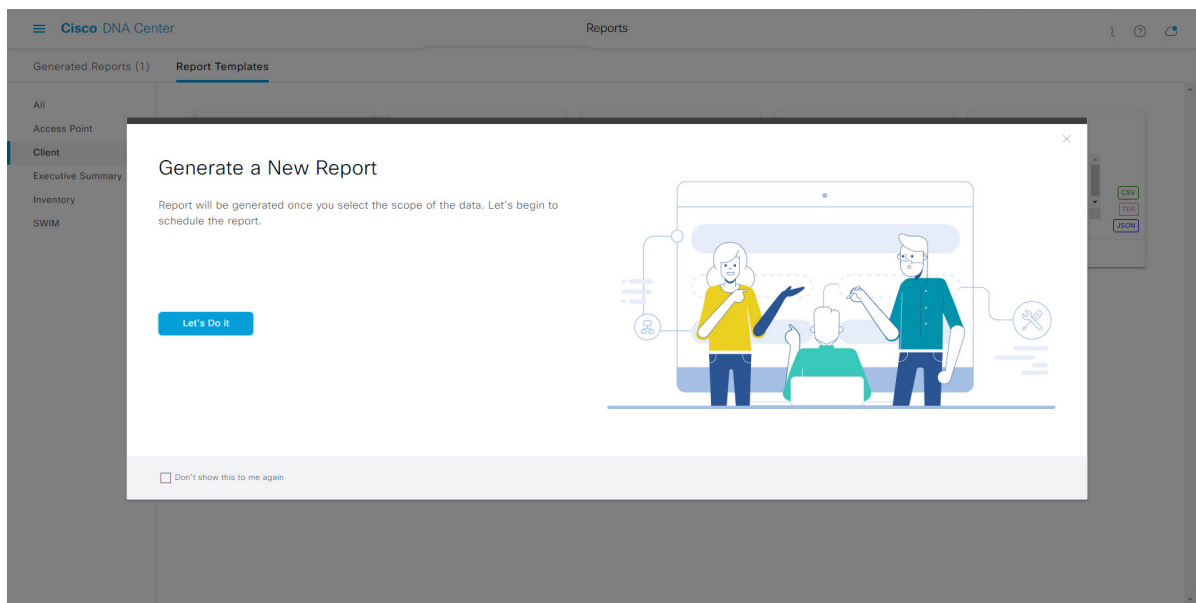
ステップ4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイルで [Generate] リンクをクリックします。

[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ6 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 85: [Generate a New Report]



[Select Report Template] ウィンドウが開きます。

ステップ7 [Select Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

ドロップダウンリストから [Template] を選択します。

(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 86: [Select Report Template]

Select Report Template

Select the template for the report

Template
Security Advisories Data

Preview

Cisco DNA Center Report Generated on Tue, 16 Jun 2020 01:40:22 UTC

Security Advisories Report

Device Name	IP Address	Device Type	Serial Number	Image Version	Site	Advisory ID	CVSS Score	Impact
lwc2-br1-4331.cisco.com	40.25.21.17	Routers	FLM1942W171	16.6.3		cisco-sa-pf/r-esc3-GMrgDQs	6.7	MEDIUM
lwc2-br2-4321	40.25.21.16	Routers	FLM1942W17J	16.6.3	Global/San Jose/SJC4	cisco-sa-20190828-losx-rest-auth-bypass	10.0	CRITICAL

Exit Next

[Next] をクリックして続行します。[Setup Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 8

[Setup Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[ReportName] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Setup Report Scope] オプションは、選択した [Template] に応じて変わります。

図 87: [Setup Report Scope]

Setup Report Scope

Name the report and select the scope to include in report.

Report Name
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm

Scope

Location

SSID

Band

Group By

Exit Previous Next

[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

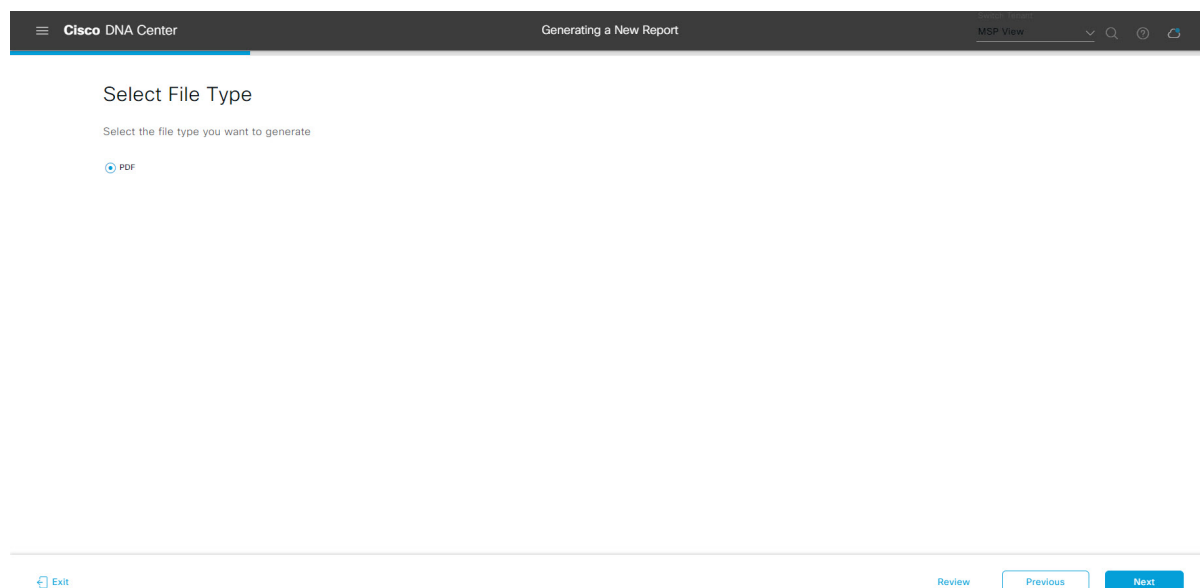
ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。

[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- **PDF**
- **CSV**
- **Tableau Data Extract**
- **JSON**

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 88: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。

[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- **Last 3 hours**
- **Last 24 hours**
- **Last 7 days**
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン (GMT) を選択できるフィールドが表示されます。

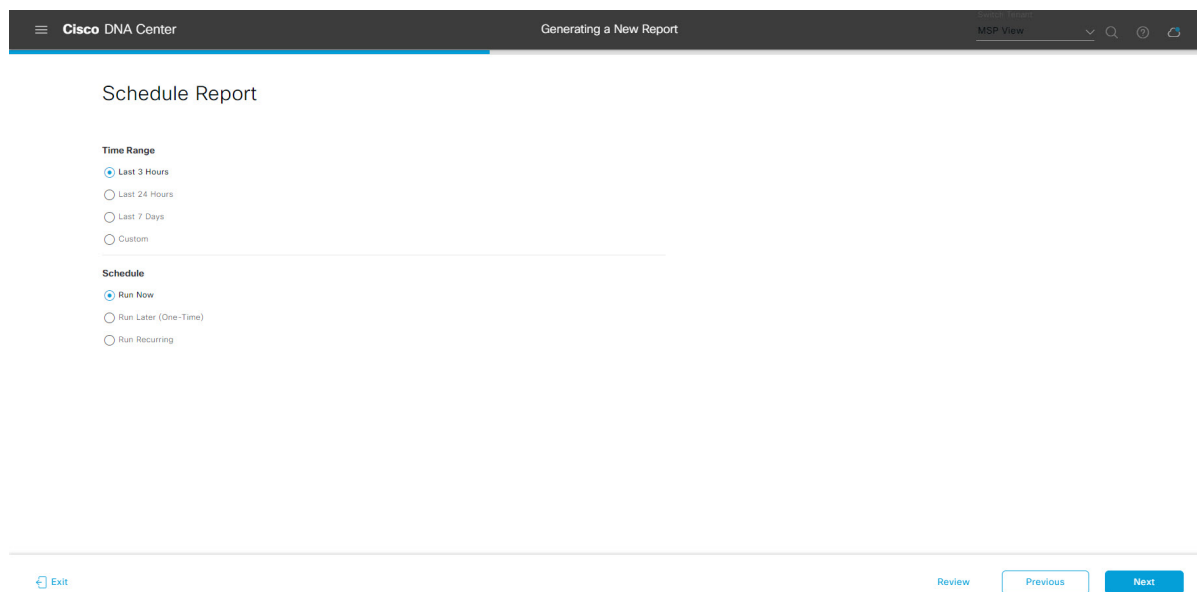
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

次の [Schedule] オプションの設定時にレポートのタイムゾーンを選択することもできます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 89: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
 - (注) 電子メールの SMTP サーバーをまだ設定していない場合は、設定するように求められます。GUI の [Email] タブのプロンプトに従って SMTP サーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] の順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知には、元の通知に戻るリンクと、[Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクがあります。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) レポートへのリンクが埋め込まれた電子メール通知は、最大20の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) PDF レポートは、最大 20 MB の電子メール通知添付ファイルと最大 10 の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

• [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス（コールバック URL）へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンリスト（[Subscription Profile] フィールド）からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

図 90 : [Delivery and Notification]

The screenshot shows the 'Delivery and Notification' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. Under 'Delivery and Notification', there are three radio button options: 'Email Report' (selected), 'As a Link', and 'As an Attachment'. Below these is an 'Add Email' input field. There is also a 'Webhook Notification' option. At the bottom right, there are 'Review', 'Previous', and 'Next' buttons. An 'Exit' button is at the bottom left.

[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 91 : [Summary]

The screenshot shows the 'Summary' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. The main heading is 'Summary'. Below it, there is a message: 'Almost there! Please find below the summary of the Report'. There are four expandable sections: 'Report Name' (value: Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm), 'Scope' (Location: Not Selected, SSID: Not Selected, Band: Not Selected, Group By: Not Selected), 'File Type' (value: PDF), and 'Time Range' (value: Last 3 Hours). At the bottom right, there are 'Previous' and 'Next' buttons. An 'Exit' button is at the bottom left.

[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 92 : [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center Reports page. The breadcrumb is "Cisco DNA Center > Reports". There are tabs for "Generated Reports (2)" and "Report Templates". A search bar is present with the text "Search Table". The table below lists two reports:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	⋮
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	● Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	⋮

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

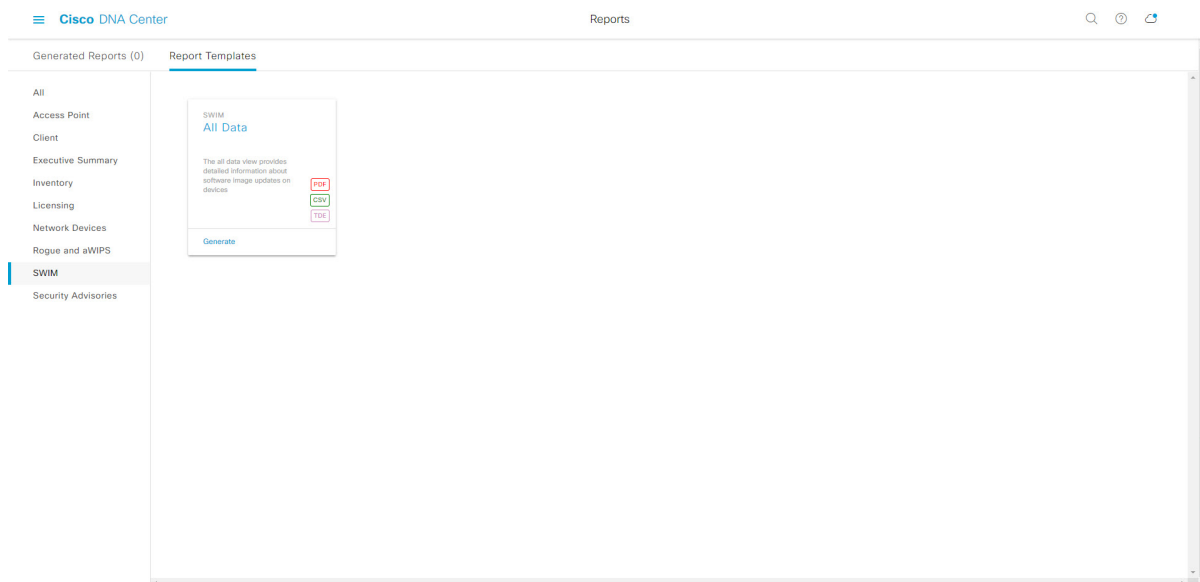


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(91 ページ\)](#) を参照してください。

SWIM レポートの実行

ネットワークについての **SWIM** レポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用して **SWIM** レポートを設定できます。

図 93: SWIM レポート



始める前に

- 正常なディスクバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスクバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順に選択して結果を表示します。

ステップ 1 メニューアイコン (☰) をクリックして、[Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。リンクは各カテゴリを表します。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

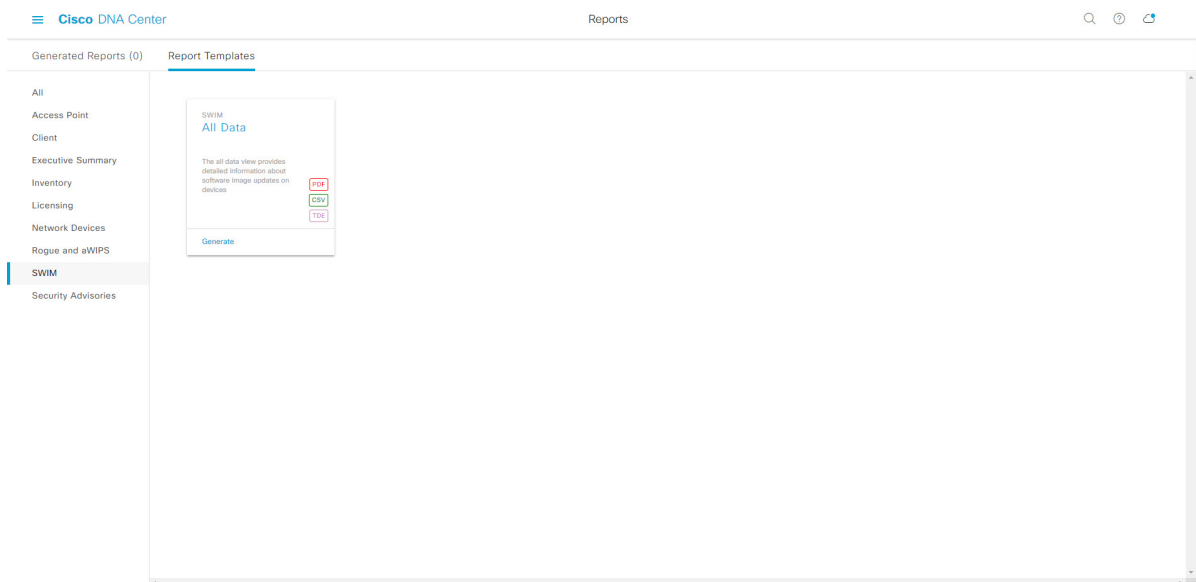
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Licensing] : 非準拠デバイスと非準拠の理由を示すレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。

- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。
- [Security Advisories] : ネットワークデバイスに関するシスコのセキュリティアドバイザリ情報を提供するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 94 : [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、**SWIM** レポートの場合は、[All Data] レポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（PDF、CSV、TDE）もタイル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データの分析を支援するテーブル。

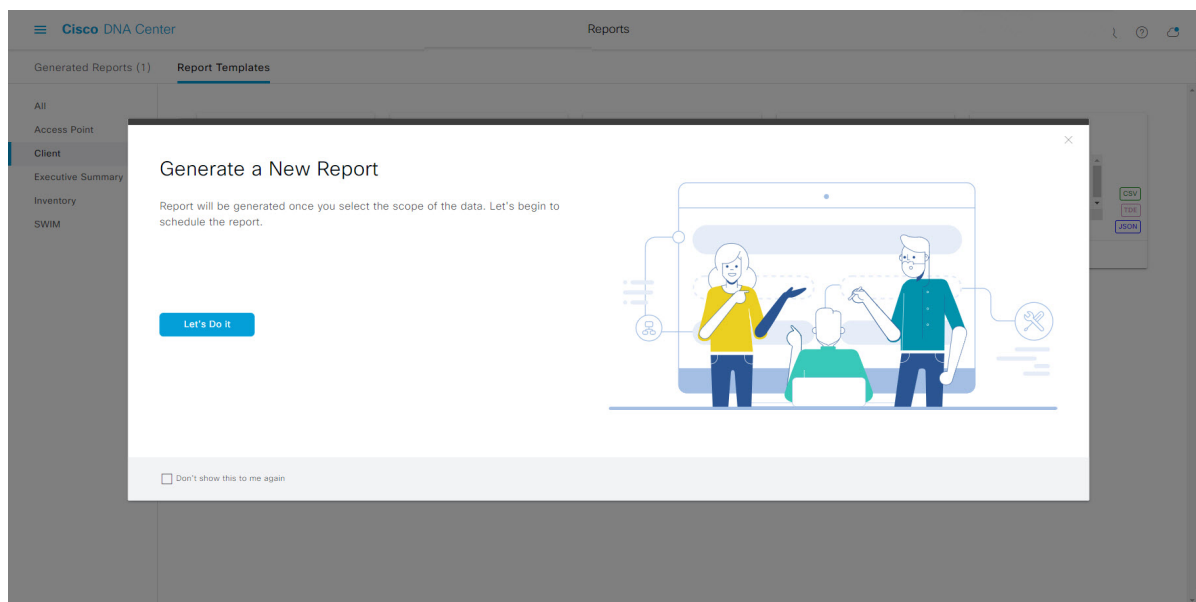
(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイトルで [Generate] リンクをクリックします。
[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ 6 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 95: [Generate a New Report]



[Select Report Template] ウィンドウが開きます。

ステップ 7 [Select Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

ドロップダウンリストから [Template] を選択します。

(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 96: [Setup Report Template]

[Next] をクリックして続行します。[Setup Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 8

[Setup Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[ReportName] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Setup Report Scope] オプションは、選択した [Template] に応じて変わります。

図 97: [Setup Report Scope]

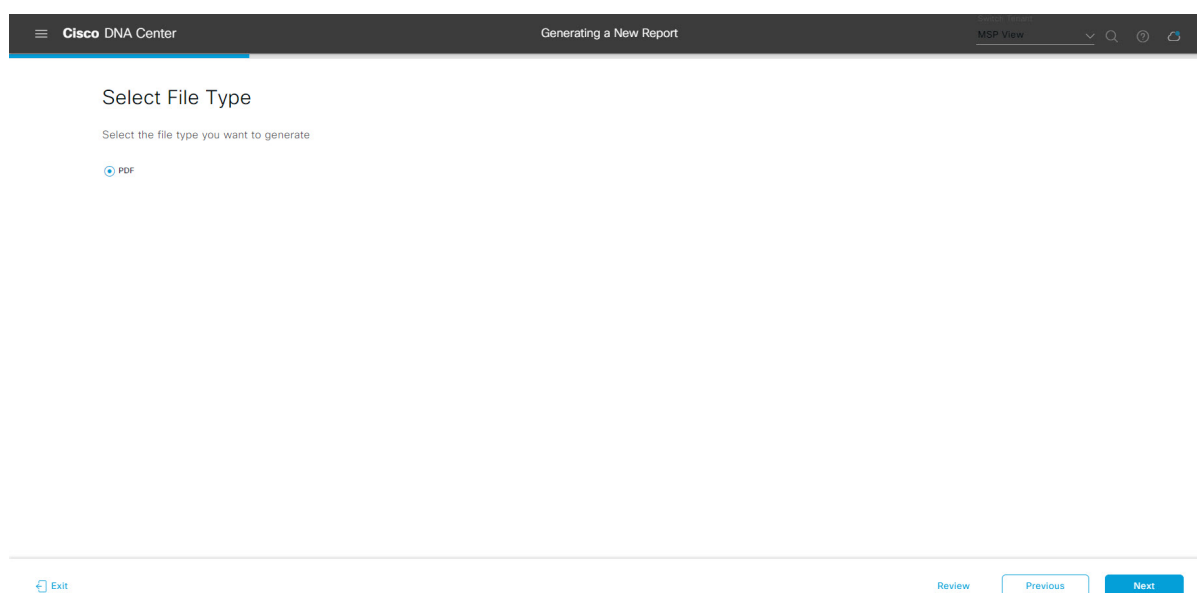
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- PDF
- CSV
- **Tableau Data Extract**
- JSON

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 98 : [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- Last 3 hours
- Last 24 hours
- Last 7 days
- Custom

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン（GMT）を選択できるフィールドが表示されます。

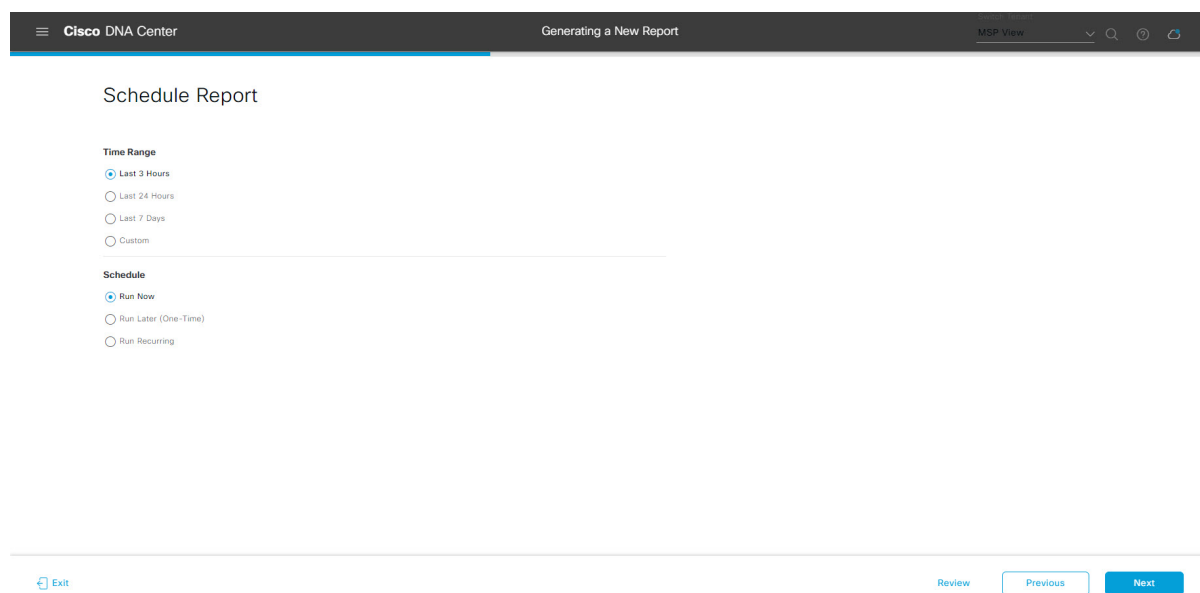
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

次の [Schedule] オプションの設定時にレポートのタイムゾーンを選択することもできます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 99: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
 - (注) 電子メールの SMTP サーバーをまだ設定していない場合は、設定するように求められます。GUI の [Email] タブのプロンプトに従って SMTP サーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] の順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知には、元の通知に戻るリンクと、[Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクがあります。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) レポートへのリンクが埋め込まれた電子メール通知は、最大20の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

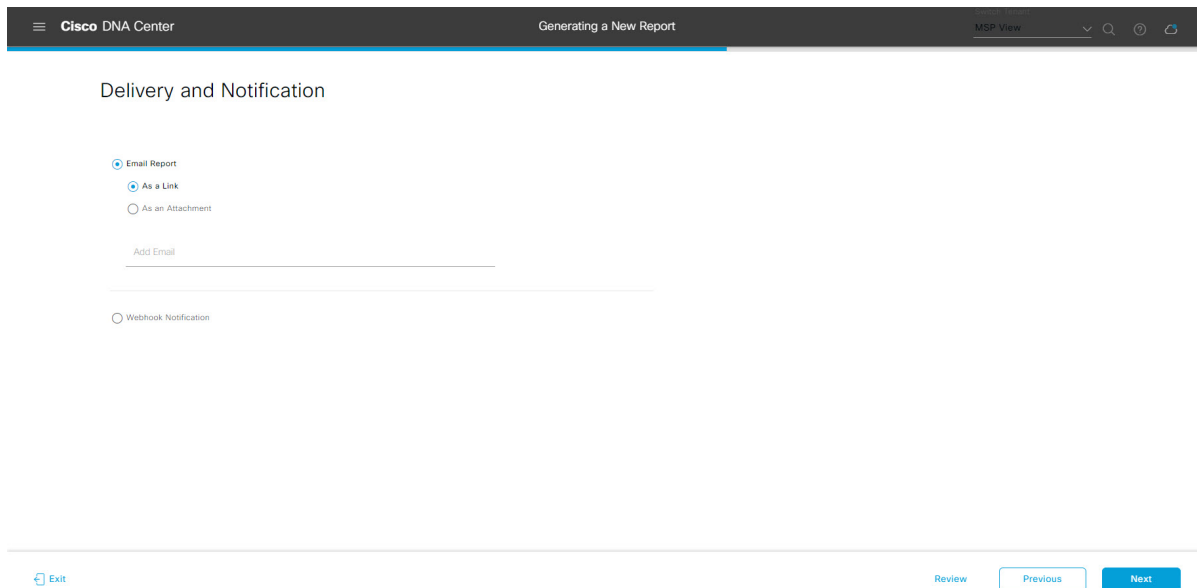
(注) PDF レポートは、最大 20 MB の電子メール通知添付ファイルと最大 10 の電子メールアドレスをサポートします。複数の電子メールアドレスを追加するには、各電子メールアドレスを個別に追加し、追加するたびに（キーボードの）Enterを押す必要があります。Cisco DNA Center プラットフォームは電子メールアドレスを検証し、構文が正しくない場合は通知します。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
 - インポートプロセスは進行中です。
 - レポートのコンパイルが正常に完了しました。
- [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス（コールバック URL）へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンリスト（[Subscription Profile] フィールド）からウェブフックを選択します。
- (注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

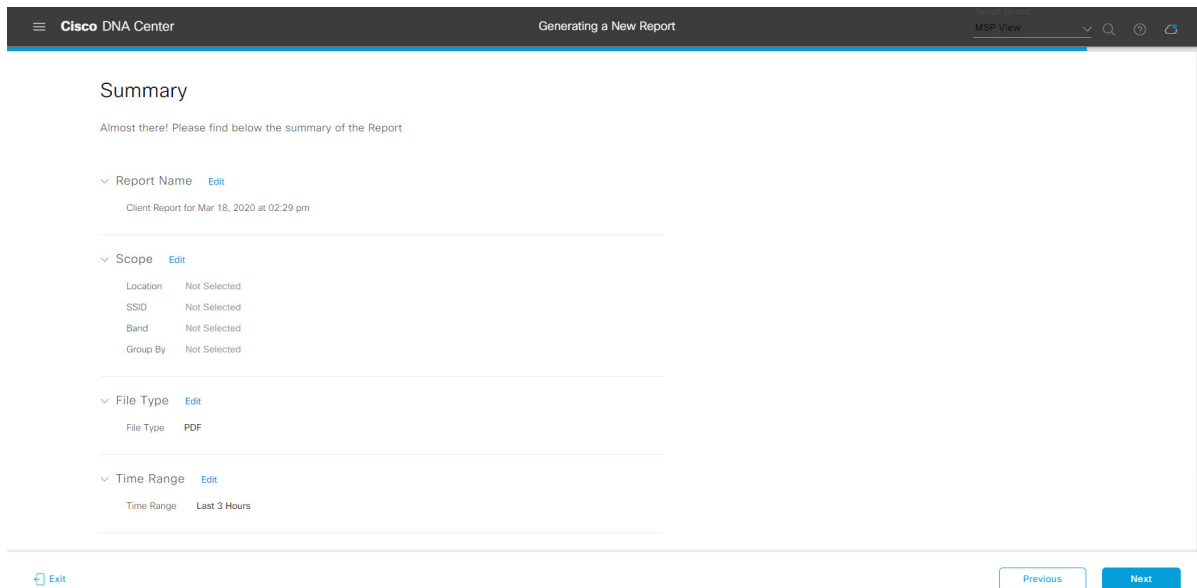
図 100 : [Delivery and Notification]



[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 101 : [Summary]



[Next] をクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 102: [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center interface for the 'Reports' section. It displays a table with columns for Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Template Category, Report Template, and Actions. Two reports are listed:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	...
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	...

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。



- (注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(91 ページ\)](#) を参照してください。

生成されたレポートの表示

以前生成したレポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除するには、この手順を実行します。

図 103: [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center interface for the 'Data and Reports' section. It displays a table with columns for Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Report Template, and Actions. Three reports are listed:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Report Template	Actions
Client Report for Feb 05, 2020 at 01:07 pm	One-Time on Feb 5, 2020 at 1:09 pm	Feb 5, 2020 at 1:09 pm	1	PDF	Client	...
Client Report for Feb 05, 2020 at 06:34 pm	Recurring on MON/TUE/WED/THU/FRI/SAT/SUN at 5:10 am	Feb 5, 2020 at 5:10 am ↓	1	PDF	Client	...
Client Report for Feb 05, 2020 at 11:09 am	One-Time on Feb 5, 2020 at 11:13 am	Feb 5, 2020 at 11:13 am ↓	1	CSV	Client	...

始める前に

- 正常なディスクバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスクバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順に選択して結果を表示します。
- [Catalog] の [Schedule] 機能を使って、レポートを作成します。

ステップ 1 [Reports]メニューアイコン (☰) をクリックして、。

ステップ 2 [Generated Reports] タブをクリックします。

次の情報が表示されます。

- [Report Name] : レポートの名前。
- レポートに名前を指定しなかった場合は、レポートの日付と時刻とともにレポートタイプを含むデフォルト名がレポートに指定されます。

(注) このリリースでは、レポート名がリンクになっており、クリックすると [Generated Reports] ウィンドウ内でそのレポートが表示されます。さらに、レポートのコピーをダウンロードするための [Download] リンクも用意されています。
- [Schedule] : 生成された 1 回限りのレポートまたは繰り返しのレポート。レポートの生成スケジュールについての簡単な説明も表示されます。
- [Last Run] : レポートの実行ステータスと詳細が表示されます。次のレポート実行ステータスタイプが表示される場合があります。
 - [Not Initiated] : スケジュールされたが、まだ開始されていないレポート。
 - [In Queue] : スケジュールされ、実行する処理キュー内にあるレポート。
 - [In Progress] : 現在実行中のレポート。
 - [Completed] : 実行が完了したレポート。完了時の日付と時刻が表示されます。
アイコン (下矢印) をクリックすると、最後に生成されたレポートがダウンロードされます。
 - [Expired] : 期限切れになり、Cisco DNA Center で使用できなくなっているレポート。
 - [Error] : レポートの実行に失敗しました。
- [Reports] : 合計で最大 7 個のレポート数。

表示されたレポート数にマウスのカーソルを合わせると、[View Report List] が表示されます。レポートダイアログボックスを表示するには、[View Report List] をクリックします。レポートダイアログボックスには、すべてのレポート実行とそのステータス ([Not Initiated]、[In Queue]、[In Progress]、[Completed]、[Expired]、[Error])、およびコピーをダウンロードするための [Download] ボタンが表示されます。[Error] をクリックすると、レポートの実行に関するエラーと警告が表示されます。

重要 Cisco DNA Center は合計 7 個のレポートを保持します。具体的には、Cisco DNA Center は実行された最後の 7 個のレポートと、過去 7 日間（週）に実行された最後の 7 個のレポートを保持します。たとえば、1 日に 8 個のレポートを実行した場合、Cisco DNA Center は最後の 7 個のレポートのみ保持します。毎日 1 つのレポートをスケジュールすると、Cisco DNA Center は過去 7 日間（週）にわたる最新の 7 個のレポートのみ保持します。また、Cisco DNA Center からさまざまな形式でレポートをエクスポートし、安全な場所にアーカイブすることもできます。

- [Format] : ファイル形式タイプ (PDF または CSV ファイル形式など)。
- [Template Category] : カタログオプション (クライアント、エグゼクティブサマリー、SWIM、インベントリ) に基づくレポートのタイプ。
- [Report Template] : レポートの生成に使用されたテンプレート。
- [Actions] : レポートで実行できるタスクのリスト。

[Filter] アイコンをクリックしてフィルタを使用するか、[Find] フィールドにキーワードを入力することで、GUI に表示されるダウンロードを調整することができます。

ステップ 3 次の 1 つ以上のタスクを実行するには、[Actions] をクリックします。

- [Edit] : レポートに設定されたパラメータ (スケジュールを含む) が表示されるウィンドウを開きます。このウィンドウでは、設定されているレポートパラメータを確認できます。ただし、このウィンドウでは、レポート設定を変更できません。これは、読み取り専用ビューです。構成を編集する必要がある場合は、[Edit] をクリックします。[Edit] をクリックすると、レポート設定を表示および編集できます。
- [Edit] : レポートに設定されたパラメータ (スケジュールを含む) が表示されるウィンドウを開きます。このウィンドウでは、パラメータの確認および編集もできます。レポートを編集した後、[Save] をクリックします。

重要 レポート構成を編集して更新すると、以降のレポート実行にはこの新しい構成が反映されます。このことは、繰り返しのスケジュールでレポートが生成されている場合に重要です。また、レポート構成を編集して更新すると、Cisco DNA Center の以前のレポートはすべて削除されます。このウィンドウで、[Save] ボタンをクリックすると、削除に関する警告が GUI に表示されます。[Save] ボタンをクリックして以前のすべてのレポートを削除するために設定で編集を行う必要はありません。

- [Duplicate] : レポートのパラメータを表示または設定できる [Duplicate] ウィンドウが開きます。[Generate Report] をクリックして、レポートを再度生成します。

(注) 既存のレポートとその構成に基づいて新しいレポートを作成する場合は、[Duplicate] オプションを使用し、構成を変更します。これにより、既存のレポートとその構成を保持したまま、既存のレポートと同様の新しいレポートを作成できます。既存のレポートを廃棄して新しいレポートに完全に置き換える場合は、前述のように [View Config] オプションと [Edit] オプションを使用します。

- [Run Now] : レポートを実行するプロセスを開始します。レポートの実行が成功すると、成功メッセージが表示されます。
 - (注) レポートを実行しようとしたときに以前のレポートが7個ある場合、最後の7個のレポートのみが保存されることを示す警告が GUI に表示されます。レポートの既存のスケジュール以外でレポートを生成する必要がある場合は、[Run Now] オプションを使用します。
 - [Delete] : レポートを削除します。レポートを削除する前に、このアクションを確認するよう求められます。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。